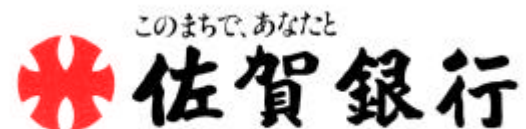


# さぎん 会社説明会



平成21年 6月



# 目次

## 部 平成20年度決算の概要

1.	不良債権比率	...	4
2.	不良債権の内訳	...	5
3.	与信リスクの分散	...	6
4.	自己資本比率・Tier 比率の推移	...	7
5.	繰延税金資産	...	8
6.	平成20年度損益の状況	...	9
7.	平成21年度業績見通し	...	10
8.	平成20年度末資産・負債・純資産の状況	...	11
9.	有価証券の状況	...	12
10.	統合的リスク管理	...	13

## 部 第12次中期経営計画の進捗状況

11.	第12次中期経営計画のテーマ	...	15
12.	第12次中期経営計画の進捗状況	...	16

## 部 貸出金利息増加策

13 -1.	貸出金平残 四半期別前年比 (全店)	...	18
13 -2.	貸出金平残 四半期別前年比 (佐賀・長崎)	...	19
13 -3.	貸出金平残 四半期別前年比 (福岡)	...	20
13 -4.	貸出金平残 四半期別前年比 (東京)	...	21

## 部 貸出金利息増加策 (続き)

14.	佐賀と福岡 - 巨大な福岡市場	...	22
15.	福岡戦略 = 事業性貸出金の増加策	...	23
16.	福岡戦略の成果	...	24
17.	佐賀・長崎地区での事業性貸出金の増加策	...	25
18.	住宅ローン状況	...	26
	住宅ローン状況	...	27
19.	消費者ローン増加策	...	28

## 部 役務取引等利益増加策

20.	役務取引等利益の状況	...	30
21.	役務取引等利益の増加策	...	31
22.	役務取引でも福岡重視へ	...	32

## 部 経費の削減

23.	経費の削減	...	34
-----	-------	-----	----

## ご参考

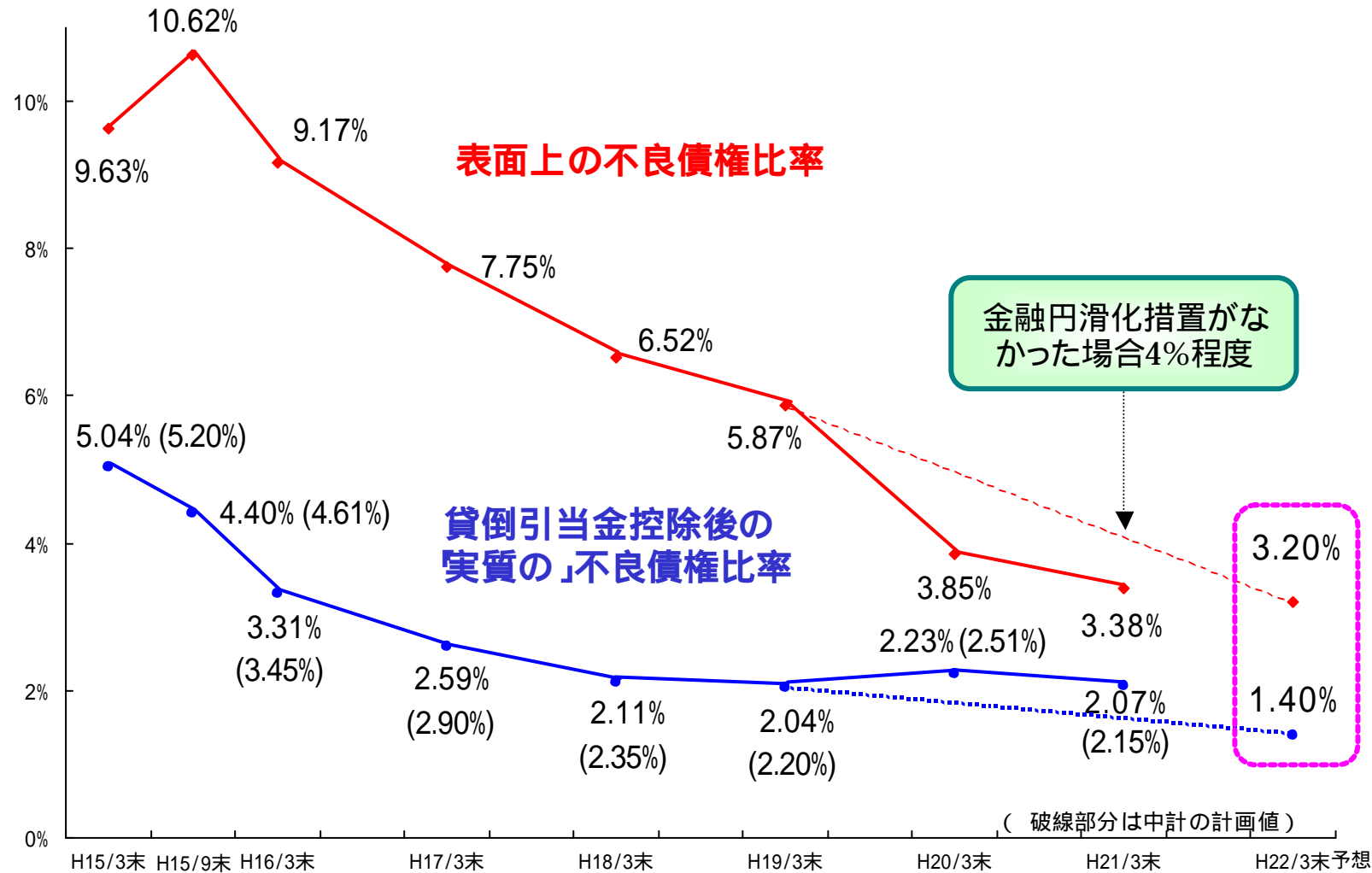
「人・環境に優しい店舗」を目指して	...	35
平成21年度入行式頭取訓示	...	36~38

## 部 平成20年度決算の概要

1.不良債権比率	・・・	4
2.不良債権の内訳	・・・	5
3.与信リスクの分散	・・・	6
4.自己資本比率・Tier 比率の推移	・・・	7
5.繰延税金資産	・・・	8
6.平成20年度損益の状況	・・・	9
7.平成21年度業績見通し	・・・	10
8.平成20年度末資産・負債・純資産の状況	・・・	11
9.有価証券の状況	・・・	12
10.統合的リスク管理	・・・	13

# 1.不良債権比率

不良債権比率 (金融再生法開示債権比率) の推移

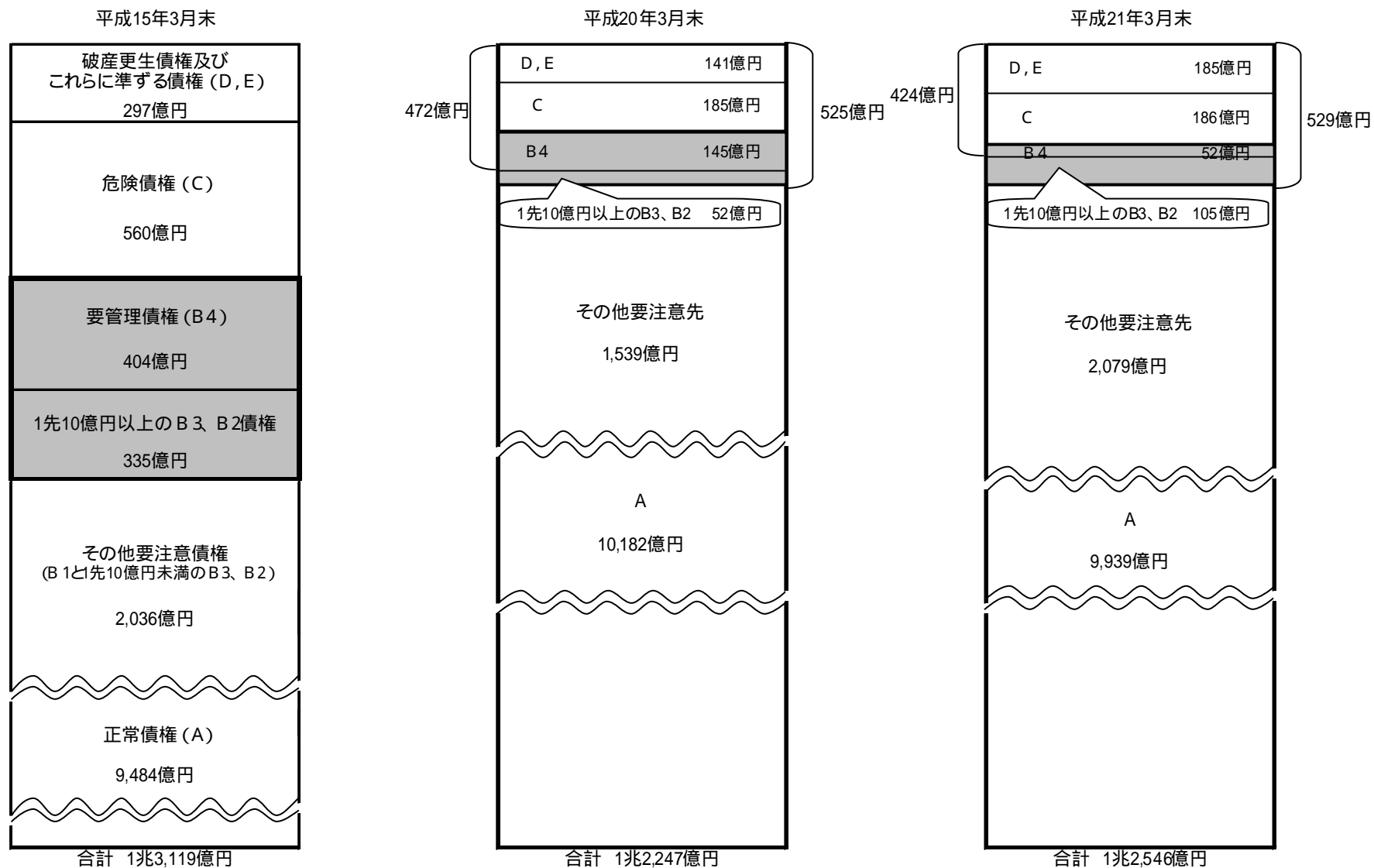


今中期経営計画の目標値

貸倒引当金控除後の不良債権比率を計算する場合、不良債権の額から個別貸倒引当金の額と要管理先に対する一般貸倒引当金の額を控除している。これは、要管理先の要管理債権のみに対する一般貸倒引当金の額が不明のためであるが、念のため、「要管理先債権に対する一般貸倒引当金」を「要管理債権の額 / 要管理先債権の額」で按分したものを「要管理債権に対する一般貸倒引当金」と見た場合の数値を( )書きで表示した。

## 2.不良債権の内訳

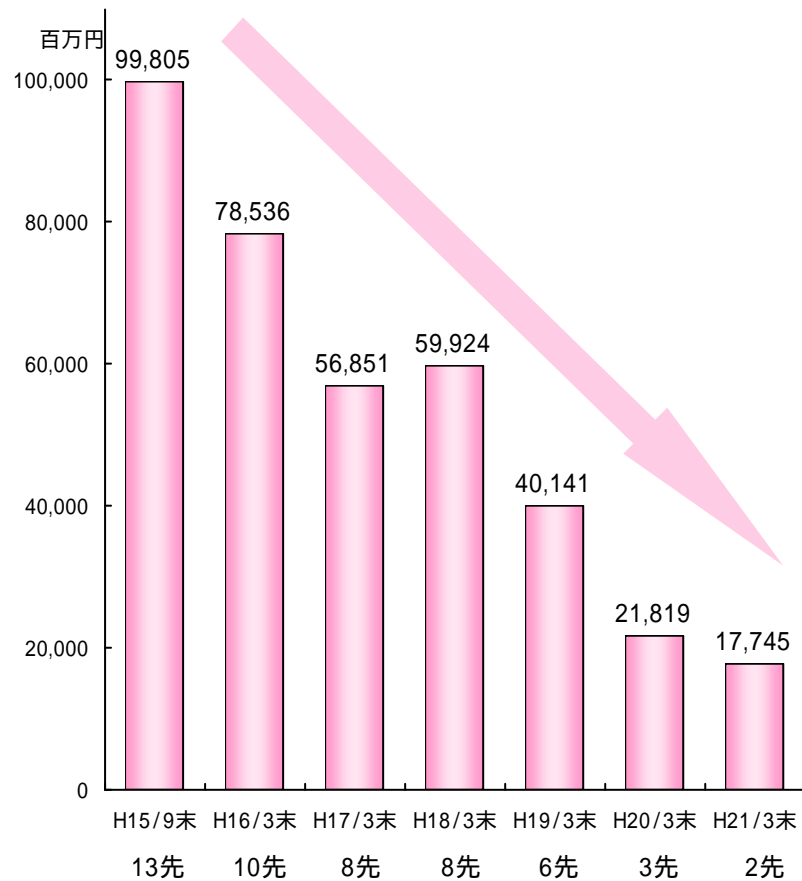
### 不良債権 (金融再生法開示債権) の残高



億円未満は切り捨てて表示しております。

# 3. 与信リスクの分散 - 優良先にも禁欲的に (不良先もかつては優良先)

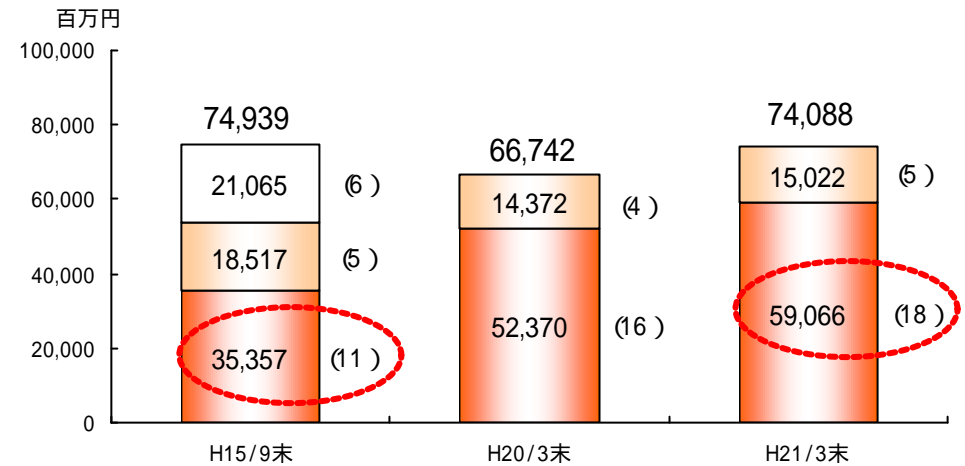
## 1. 1先与信額 50億円超



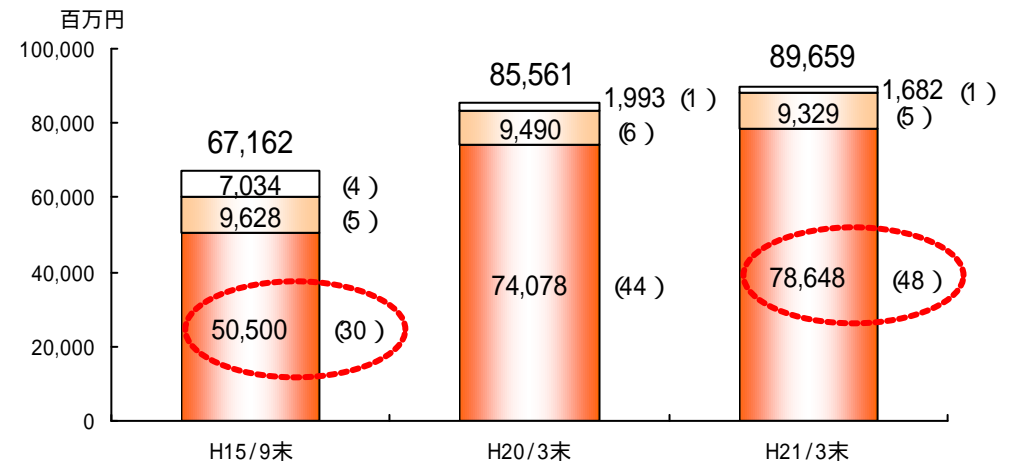
当行の行内格付

- A ... 正常先
- B ... 要注意先
- C ... 破綻懸念先
- D ... 実質破綻先
- E ... 破綻先

## 2. 1先与信額 25億円超 50億円以下



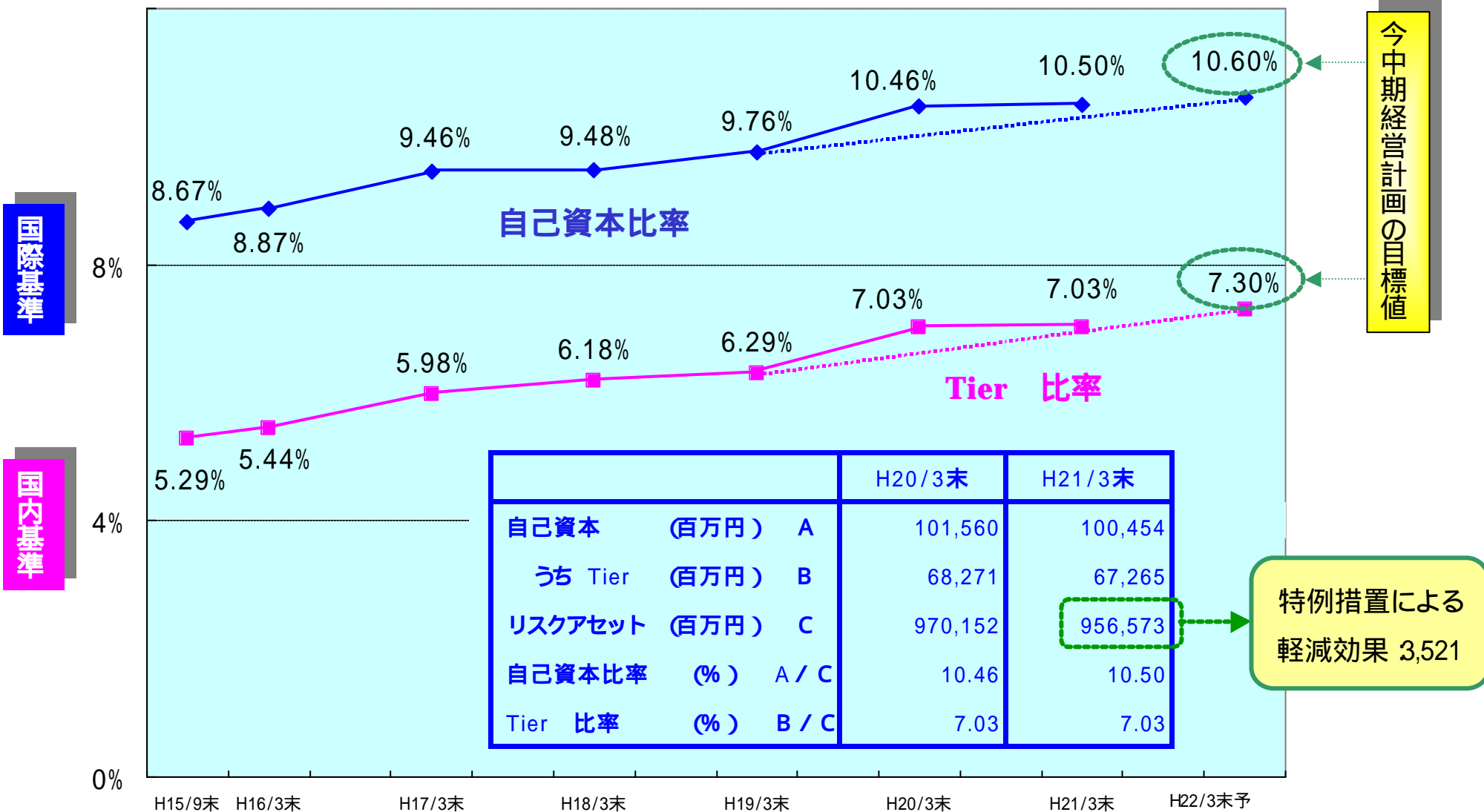
## 3. 1、2以外の信用与信額 10億円超



A先
  B先
  C~E先

( )内は先数。

# 4. 自己資本比率・Tier 比率の推移



「H18/3末」までは旧基準、「H19/3末」以降は新基準にて算出。  
 新基準における信用リスクについては「標準的手法」、オペレーショナルリスクについては「基礎的手法」を採用。

# 5.繰延税金資産

H15/9末 (過去の比-ク)	繰延税金資産 (B) 29,872百万円		評価性引当額 8,738百万円
	B/S計上繰延税金資産 (A) 27,288百万円	繰延税金負債 2,583百万円	
H18/3末	繰延税金資産 (B) 19,793百万円		評価性引当額 10,159百万円
	B/S計上繰延税金資産 (A) 12,172百万円	繰延税金負債 7,621百万円	
H19/3末	繰延税金資産 (B) 17,496百万円		評価性引当額 9,854百万円
	B/S計上繰延税金資産 (A) 8,432百万円	繰延税金負債 9,064百万円	
H20/3末	繰延税金資産 (B) 19,873百万円		評価性引当額 5,564百万円
	B/S計上繰延税金資産 (A) 13,873百万円	繰延税金負債 5,999百万円	
H21/3末	繰延税金資産 (B) 21,018百万円		評価性引当額 4,984百万円
	B/S計上繰延税金資産 (A) 16,307百万円	繰延税金負債 4,710百万円	

## 中核的資本に占める繰延税金資産の割合

	H15/9末	H17/3末	H18/3末	H19/3末	H20/3末	H21/3末
Tier 中 (A)の比率	56.25%	28.95%	21.32%	13.79%	20.32%	24.24%
Tier 中 (B)の比率	61.58%	45.94%	34.68%	28.63%	29.10%	31.24%

過去の比-ク



# 6.平成20年度損益の状況

番号	項 目	平成19年度	平成20年度	前年比	備 考	
1	資金利益 2-7	29,571	29,512	59		
2	資金運用収益 3+4+5+6	35,257	34,472	785		
3	貸出金利息	27,128	26,944	184	0.6%	貸出金平残 +0.2%
4	有価証券利息配当金(国内)	6,750	6,943	+193	+2.8%	貸出金利回り 0.9% (2.256% 2.234%) 国内有価証券平残 +2.0%
5	有価証券利息配当金(国際)	849	22	827		国内有価証券利回り +0.7% (1.263% 1.273%)
6	その他	530	561	+31		
7	資金調達費用 8+9+10	5,687	4,961	726		
8	預金等利息	4,359	4,419	+60		預金等平残 +1.1%
9	その他(国内)	513	503	10		国内預金利回り 0.235% 0.238%
10	その他(国際)	814	38	776		国内預貸金利回り差 2.021% 1.996% 0.025ポイント
11	役務取引等利益 12-13	3,597	2,835	762		
12	役務取引等収益	6,916	6,401	515		投資信託関係 前年比 283
13	役務取引等費用	3,319	3,566	+247		年金保険関係 前年比 +53
14	その他の業務利益(除債券5勘定戻) 15-16	1,209	998	211		ステップサポート支払保証料の増加 +240
15	その他の業務収益( " )	1,209	998	211		
16	その他の業務費用( " )	0	0	0		
17	業務粗利益( " ) 1+11+14	34,378	33,346	1,032		
18	経費	24,445	24,035	410		物件費の減少 498
19	コア業務純益 17-18	9,933	9,310	623		
20	クレジットコスト 21+22+23	3,539	注1 7,815	+4,276		注1: $\frac{\text{クレジットコスト}}{\text{貸出金平残}} = 0.64\%$
21	一般貸倒引当金繰入額	2,563	1,795	4,358		
22	個別貸倒引当金繰入額	1,741	8,959	+7,218		
23	債権売却損等 (売却益)	765	651	+1,416		
24	国債等債券損益(勘定戻)	125	553	678		
25	株式等損益(勘定戻)	314	注2 1,839	1,525		注2: 1,839中、株式等償却 3,295
26	その他の臨時損益	99	111	12		
27	経常利益 19-20+24+25+26	6,103	1,010	7,113		
28	特別損益	1,140	63	+1,077		
29	税引前当期純利益 27+28	4,963	1,073	6,036		
30	法人税等・法人税等調整額	2,721	1,121	+1,600		
31	当期純利益 29-30	7,685	47	7,638		

外貨建債券については、H20年3月より運用を停止

単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

# 7.平成21年度業績見通し- 我慢の1年

番号	項目	平成20年度	平成21年度	前年比	備考	
					備	考
1	資金利益	29,512	29,300	212	貸出金平残	+ 4.1%
					貸出金利回り	5.7% (2.234% 2.106%)
					国内有価証券平残	8.8%
					国内有価証券利回り	4.0% (1.273% 1.222%)
					国内預金利回り	0.238% 0.156%
					国内預貸金利回り差	1.996% 1.950%
						0.046ポイント
11	役務取引等利益	2,835	3,200	+365		
18	経費	24,035	24,700	+665		
19	コア業務純益	9,310	8,400	910		
20	クレジットコスト	7,815	注1 5,200	2,615	注1	$\frac{\text{クレジットコスト}}{\text{貸出金平残}} = 0.41\%$
27	経常利益	1,010	注2 3,700	+4,710	注2	株式等償却 0
31	当期純利益	47	1,000	+953		

単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

## (ご参考 業績見通しの前提)

	H20年度	H21年度			
	H21年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	H22年 1～3月期
GDPの四半期パターン(前期比)	4.0%	0.3%	0.5%	0.6%	0.4%
日銀の政策金利(無担O/Nの誘導水準)	0.10%	0.10%	0.10%	0.10%	0.10%
貸出金利回り	2.18%	2.13%	2.10%	2.10%	2.10%
預金等利回り	0.19%	0.19%	0.17%	0.16%	0.15%

# 8.平成20年度末資産・負債・純資産の状況

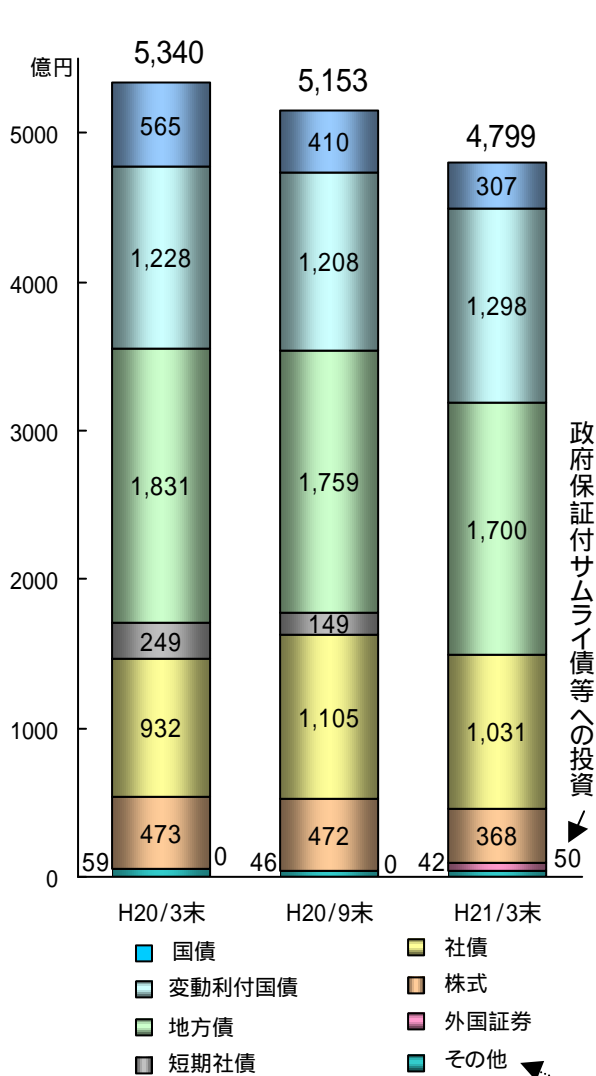
番号	項目	平成20年3月末	平成21年3月末	前年比	備考
	(資産の部)				
1	現金預け金、コールローン 買入金銭債権、特定取引資産 金銭の信託、短期社債	166,629	183,356	+16,727	
2	有価証券(除く短期社債)	509,094	479,925	29,169	国内債券 (除く短期社債) 22,030 円建外債(政府保証)等 +5,000 株式 10,461
3	貸出金	1,201,059	1,232,628	+31,569	
4	外国為替・その他資産	10,253	21,256	+11,003	
5	有形・無形固定資産	31,856	33,313	+1,457	→ ハルク等不良債権処理 15,230
6	繰延税金資産	13,873	16,307	+2,434	
7	支払承諾見返	18,463	16,312	2,151	
8	貸倒引当金	22,050	22,572	522	
9	合計	1,929,179	1,960,528	+31,349	
	(負債の部)				
10	預金	1,744,956	1,772,352	+27,396	→ うち個人預金の増加 +22,871 (1,253,919 1,276,790) 別途、個人預かり資産残高( )増加 +15,266 (194,897 210,163)
11	譲渡性預金	30,974	39,435	+8,461	
12	コールマネー・借入金	22,553	(注1) 21,728	825	(注1) うち劣後特約付借入金 20,500
13	外国為替・その他負債	6,961	7,883	+922	
14	賞与引当金・退職給与引当金	11,980	12,479	+499	
15	役員退職慰労引当金	614	682	+68	
16	睡眠預金払戻引当金	102	113	+11	
17	再評価に係る繰延税金負債	6,511	6,499	12	
18	支払承諾	18,463	16,312	2,151	
19	合計	1,843,118	1,877,489	+34,371	
20	純資産の部合計	86,061	83,039	3,022	
21	負債及び純資産の部合計	1,929,179	1,960,528	+31,349	

単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

「個人預かり資産残高」は、投資信託、個人年金保険、公共債の合計額。

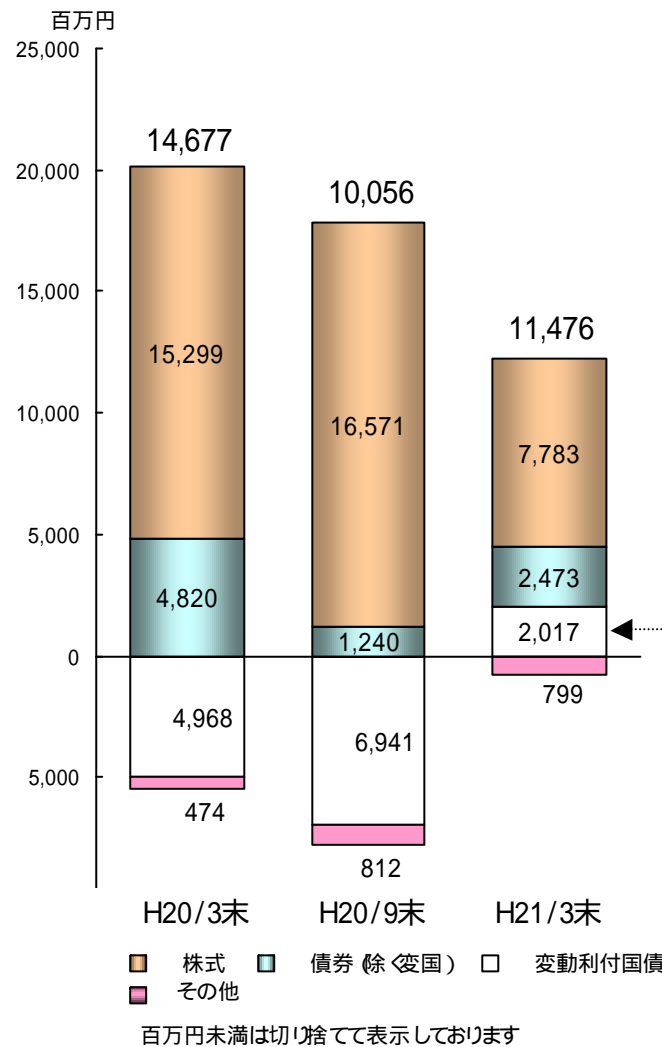
# 9. 有価証券の状況

## 1. 有価証券残高 (B S計上額)



億円未満は切り捨てて表示しております

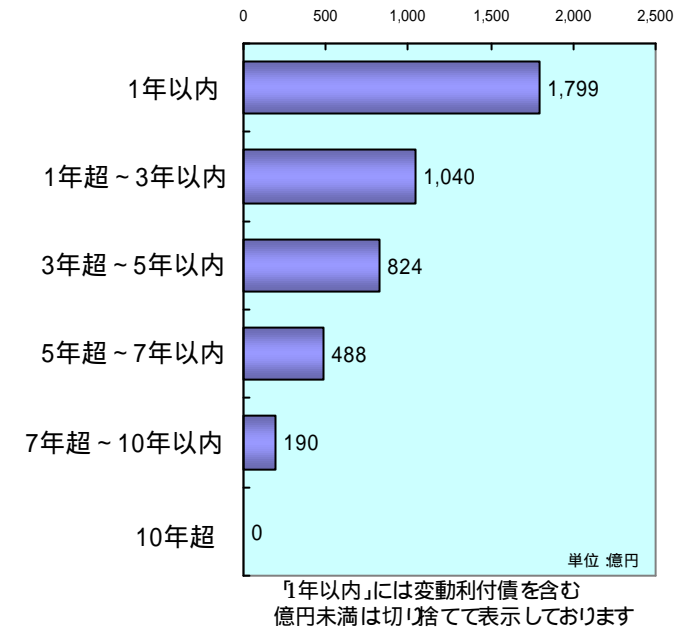
## 2. 『その他有価証券』の評価損益



百万円未満は切り捨てて表示しております

その他の内訳 :REIT 7、その他の投資信託25、投資事業組合10

## 3. 円建債券の残存期間別残高 (H21/3末)



「1年以内」には変動利付債を含む  
億円未満は切り捨てて表示しております

## 4. 国内債券の平均残存期間と10BPV

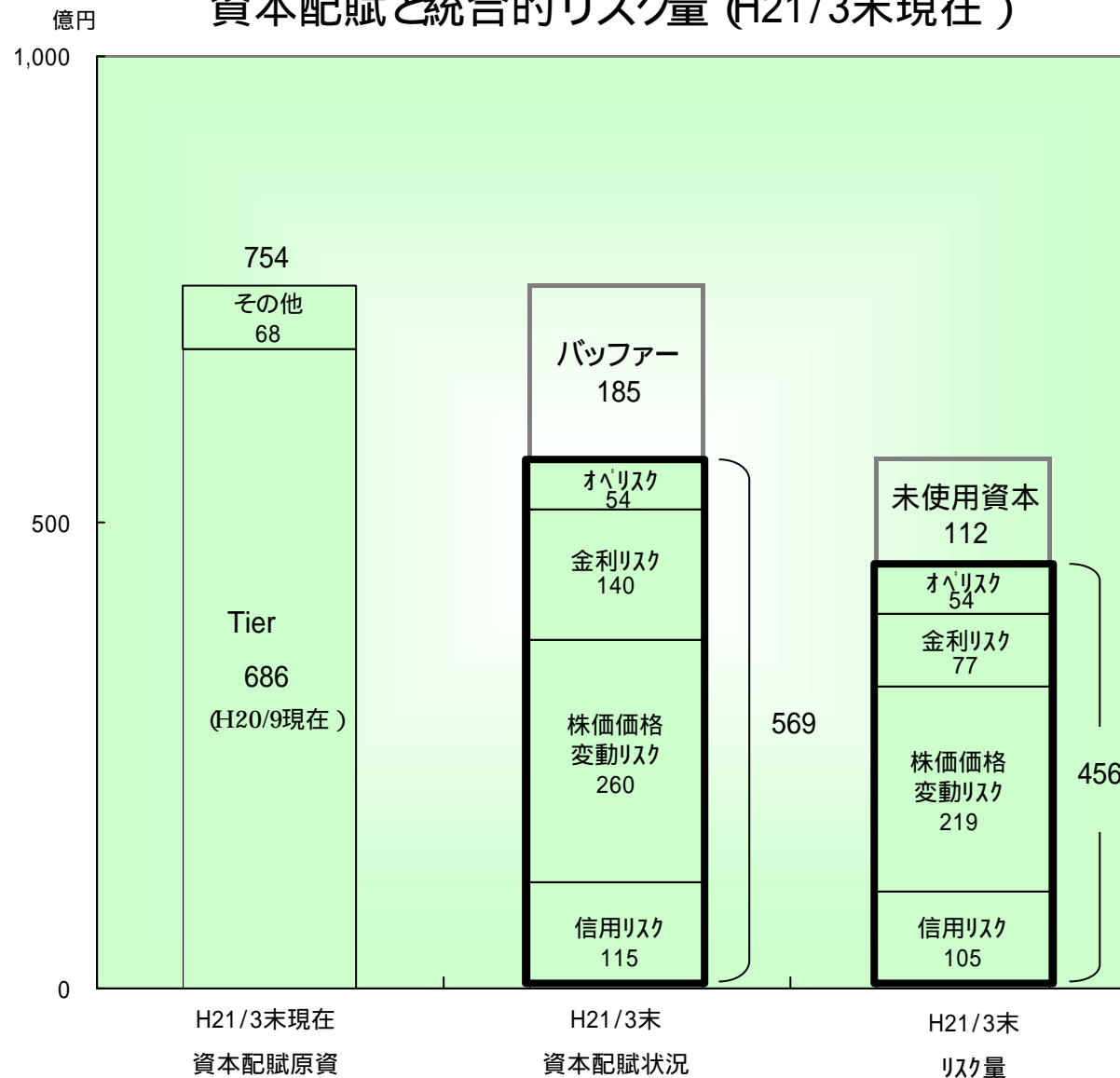
	H20/3末	H20/9末	H21/3末
平均残存期間 (年)	2.80	2.56	2.47
10BPV (百万円)	1,093	972	910

変動利付国債は0.5年として算出

変動利付国債の時価については、当事業年度末においては合理的に算定された価額をもって貸借対照表計上額としております。これにより、市場価格をもって貸借対照表価額とした場合に比べ、「有価証券」は7,528百万円増加、「繰延税金資産」は3,033百万円減少、「その他有価証券評価差額金」は4,494百万円増加しております。

# 10. 統合的リスク管理

資本配賦と統合的リスク量 (H21/3末現在)



その他 = その他有価証券評価差額金 億円未満は切り捨てて表示しております。

## アウトライヤー比率 (H21/3末)

金利リスク量 (百万円)	Tier +Tier (百万円)	アウトライヤー比率
852	100,454	0.84%

計測方法 : 完全再評価方式  
 金利ショック幅 : パーセンタイル値  
 コア預金 : H20/12より内部モデルにて計測

## リスク計測基準

信用リスク	... 保有期間	1年
	信託区間	99%
金利リスク	... 保有期間	1 ~ 60日
	信託区間	99%
株価価格変動リスク	... 保有期間	20 ~ 125日
	信託区間	99%
オペレーショナルリスク	... バーセル 基礎的手法	
	相関は考慮しておりません。	

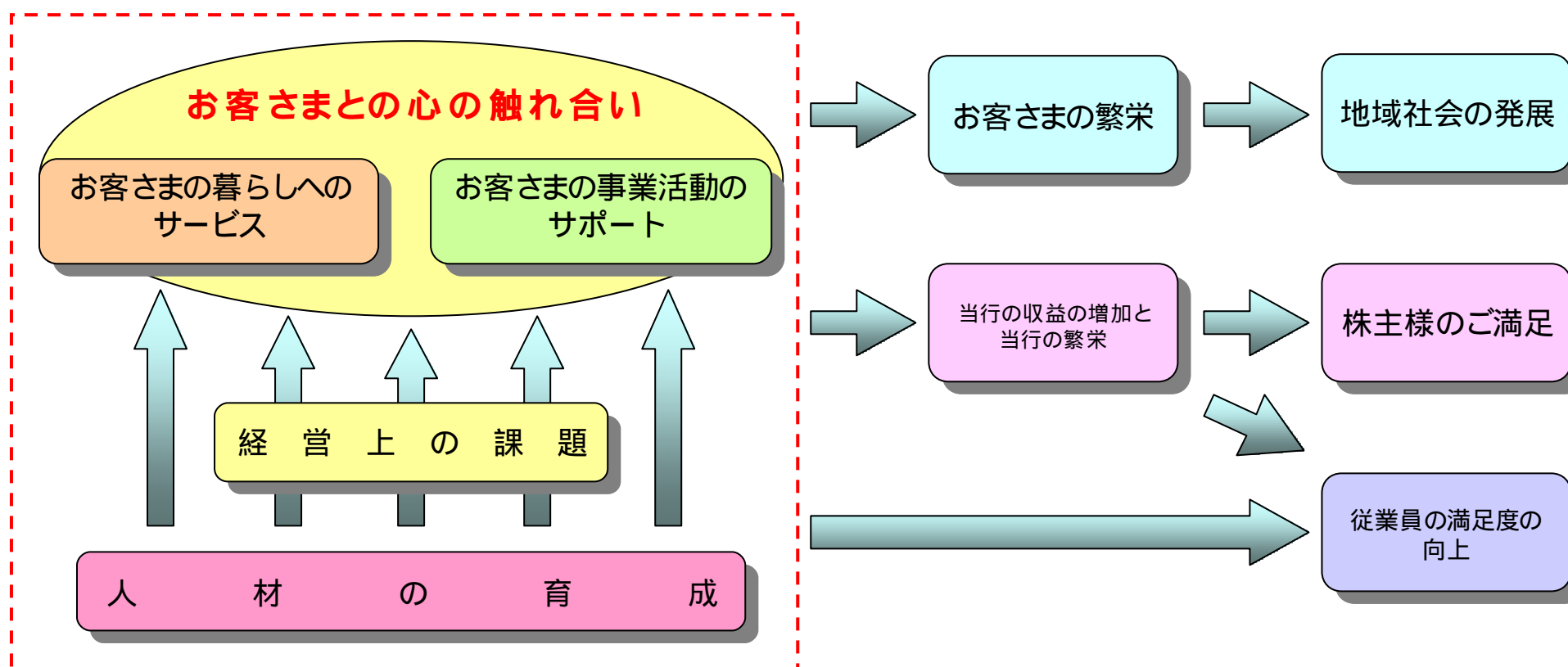
## 部 第12次中期経営計画の進捗状況

- 11. 第12次中期経営計画のテーマ ……15
- 12. 第12次中期経営計画の進捗状況 ……16

# 11. 第12次中期経営計画のテーマ

**第12次中期経営計画**  
計画期間：平成19年4月～平成22年3月  
テーマ：より深くお客さまの暮らし、事業、そして心の中へ  
～「さぎんさん」と呼ばれる銀行をめざして～

(イメージ図)



## 12.第12次中期経営計画の進捗状況

項目	番号	H18年度 (発射台)	H19年度	H20年度 実績	H21年度 目標
コア業務純益 (注1) (百万円)	1	9,879	9,933	9,310	11,700
当期純利益 (百万円)	2	4,899	7,685	47	5,600
ROE (注2)	3	6.07%	9.04%	0.05%	6.00%
自己資本比率	4	9.76%	10.46%	10.50%	10.60%
Tier 比率	5	6.29%	7.03%	7.03%	7.30%
Tier 中 繰延税金資産の比率 (注3)	6	13.79% (28.63%)	20.3% (29.1%)	24.2% (31.2%)	(注4) 1.0% (13.9%)
不良債権比率	7	5.87%	3.85%	3.38%	3.2%
同貸倒引当金控除後の比率	8	2.04%	2.23%	2.07%	1.4%
OHR	9	72.73%	70.8%	73.2%	68.0%

注1:一般貸倒引当金繰入前、債券5勘定戻調整後の業務純益。

注2:当期純利益÷{(期首自己資本+期末自己資本)÷2}

注3:カッコ内は繰延税金負債控除前

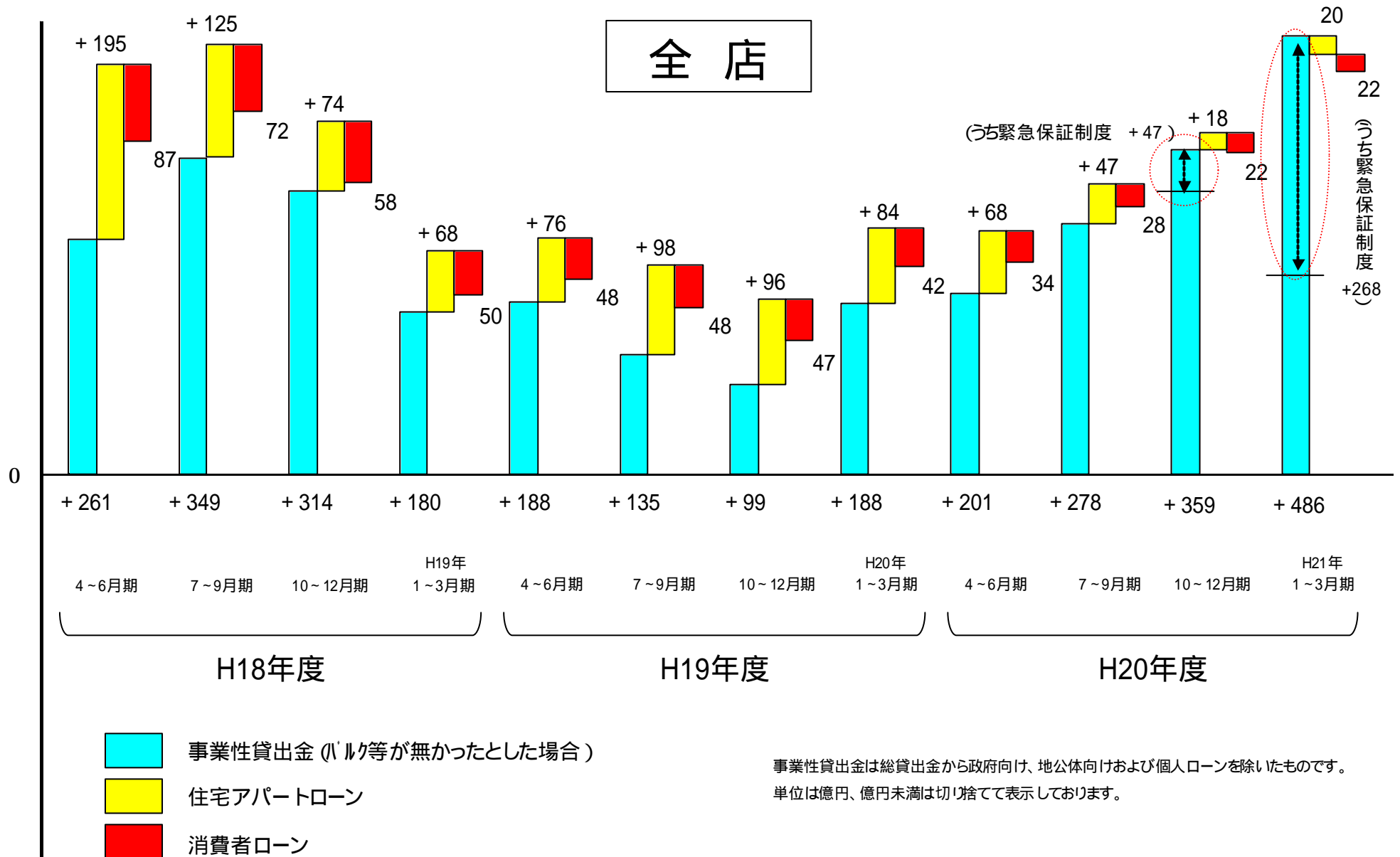
注4:繰延税金負債はH21年度末の有価証券評価損益をH18年度並として計算。



## 部 貸出金利息増加策

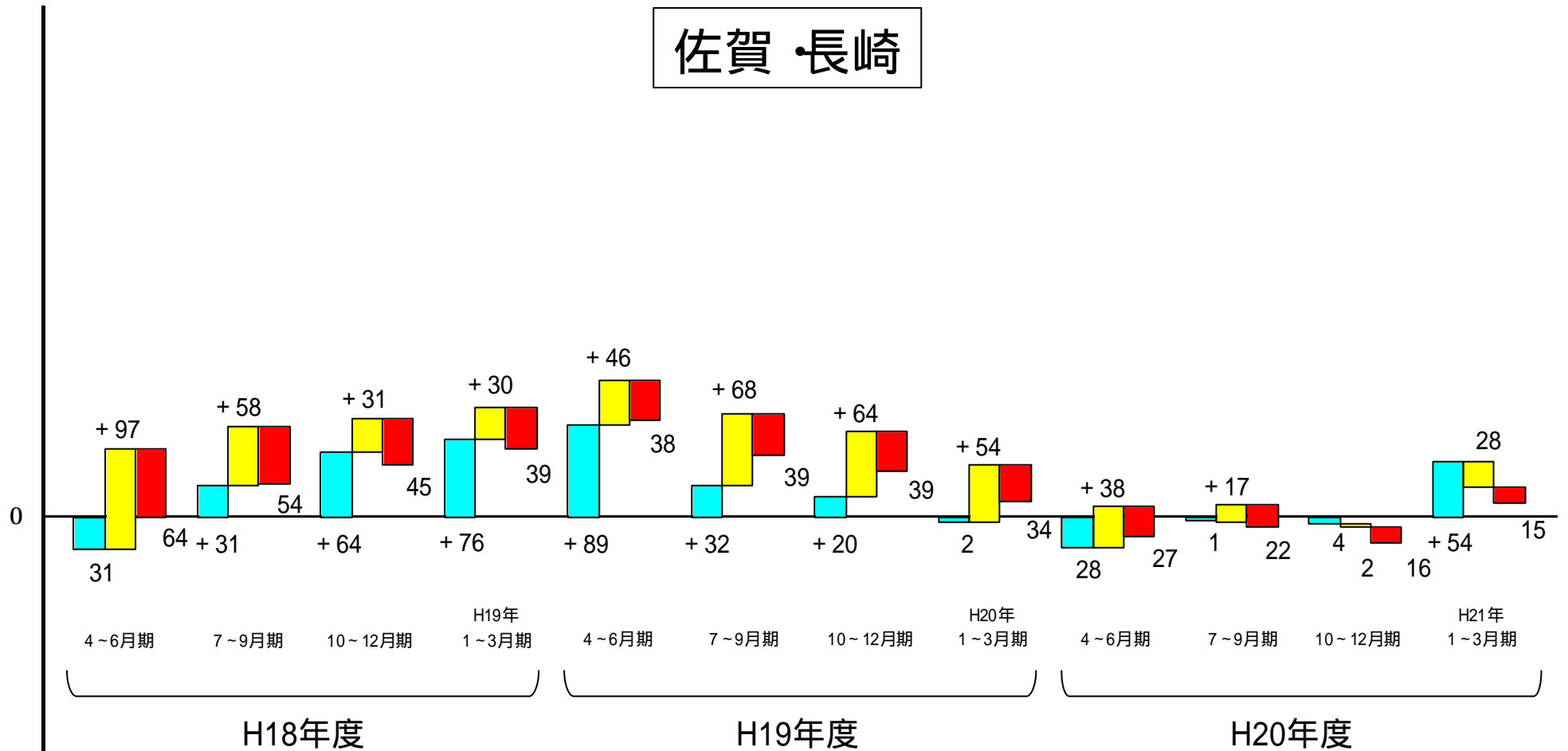
- 13. 貸出金平残 四半期別前年比 ……18~ 21
  - 全店、佐賀・長崎、福岡、東京
- 14. 佐賀と福岡 - 巨大な福岡市場 ……22
- 15. 福岡戦略 = 事業性貸出金の増加策 ……23
- 16. 福岡戦略の成果 ……24
- 17. 佐賀・長崎地区での事業性貸出金の増加策 ……25
- 18. 住宅ローンの状況 ……26~ 27
- 19. 消費者ローン増加策 ……28

# 13 - 1 .貸出金平残 四半期別前年比



# 13 - 2 .貸出金平残 四半期別前年比

佐賀・長崎

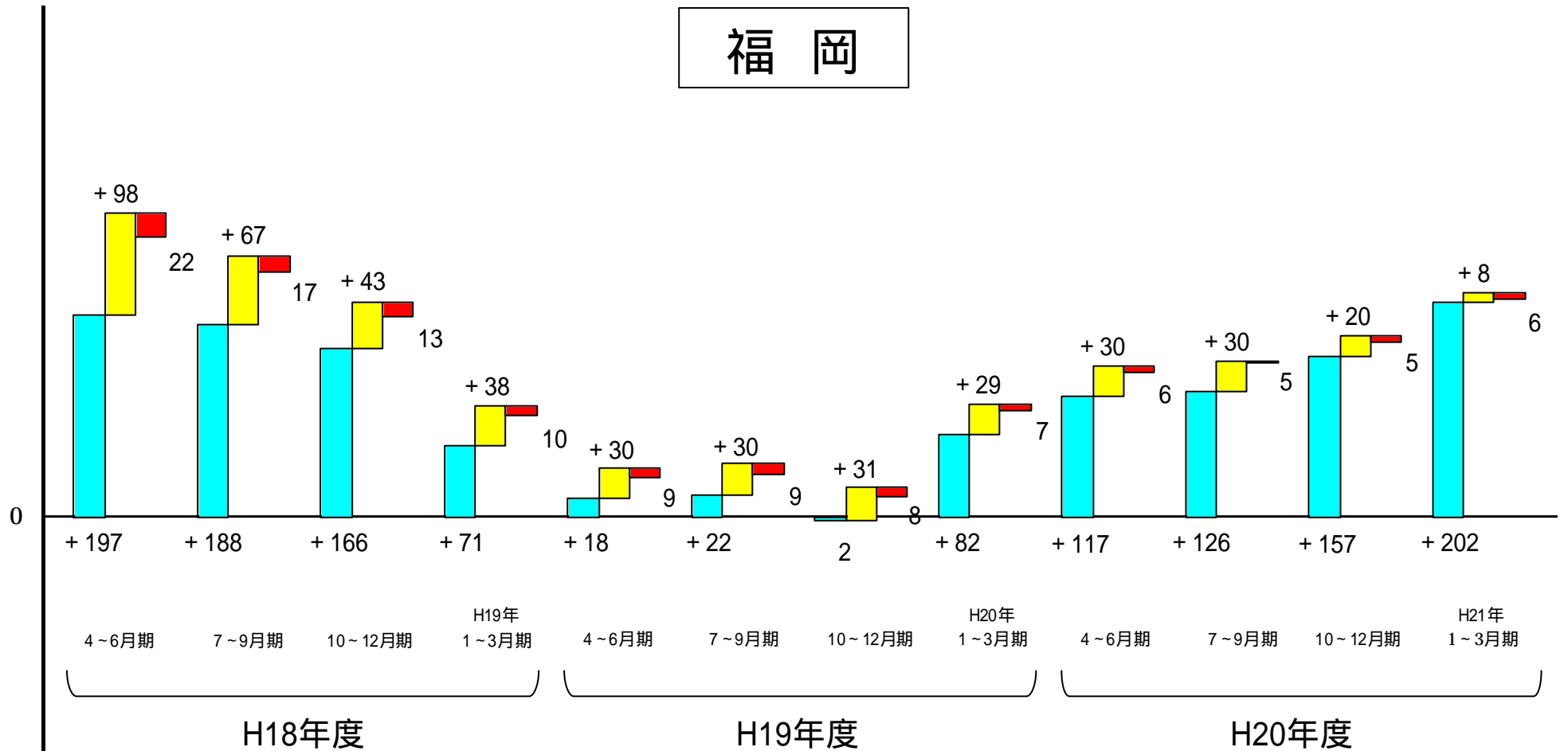


- 事業性貸出金 (バルク等が無かったとした場合)
- 住宅アパートローン
- 消費者ローン

事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。  
 単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

# 13 - 3 .貸出金平残 四半期別前年比

福岡

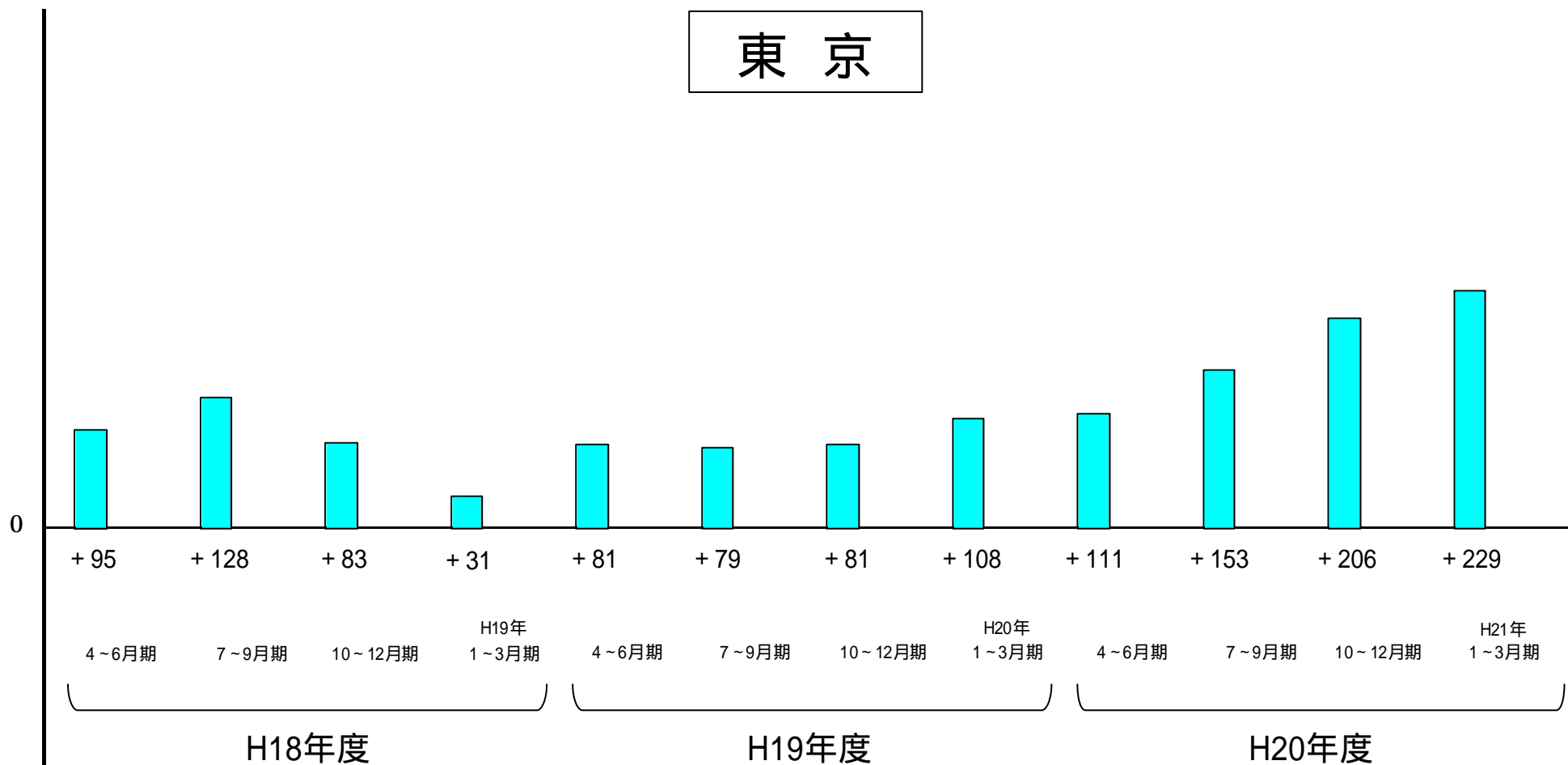


- 事業性貸出金 (バルク等が無かったとした場合)
- 住宅アパートローン
- 消費者ローン

事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。  
単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

# 13 - 4 .貸出金平残 四半期別前年比

東京



- 事業性貸出金 (バルク等が無かったとした場合)
- 住宅アパートローン
- 消費者ローン

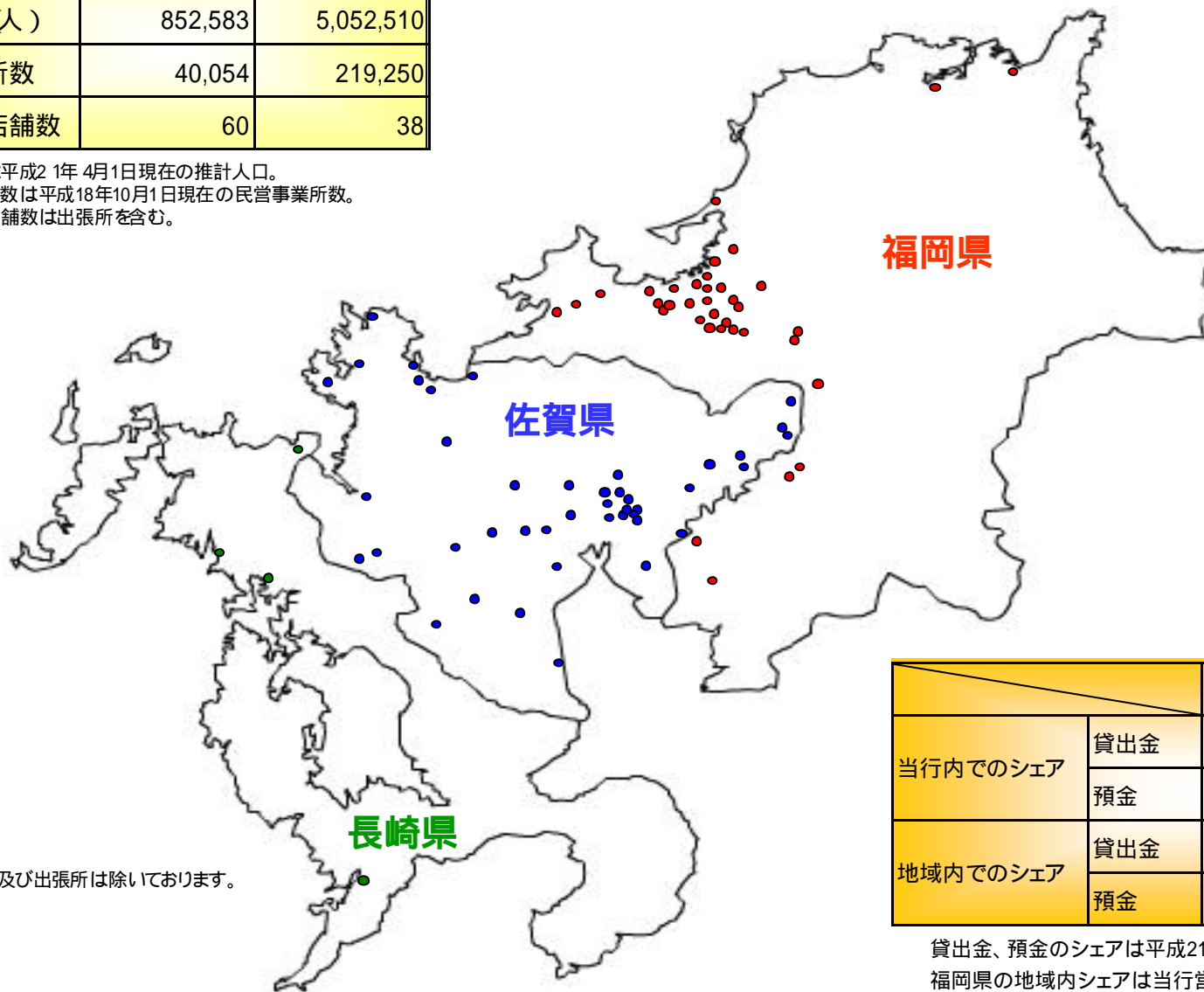
事業性貸出金は総貸出金から政府向け、地公体向けおよび個人ローンを除いたものです。  
単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

# 14 .佐賀と福岡 - 巨大な福岡市場

	佐賀県	福岡県
人口(人)	852,583	5,052,510
事業所数	40,054	219,250
当行店舗数	60	38

人口は平成21年4月1日現在の推計人口。  
 事業所数は平成18年10月1日現在の民営事業所数。  
 当行店舗数は出張所を含む。

## 当行の店舗ネットワーク



東京支店及び出張所は除いております。

		佐賀県	福岡県
当行内でのシェア	貸出金	52.7%	34.8%
	預金	77.6%	20.0%
地域内でのシェア	貸出金	45.0%	2.6%
	預金	55.3%	1.5%

貸出金、預金のシェアは平成21年3月末現在残高ベース。  
 福岡県の地域内シェアは当行営業地域。

# 15.福岡戦略 = 事業性貸出金の増加策

## 2. 融資戦略店舗と専担者の配置

各支店レベルでの  
優良企業の開拓

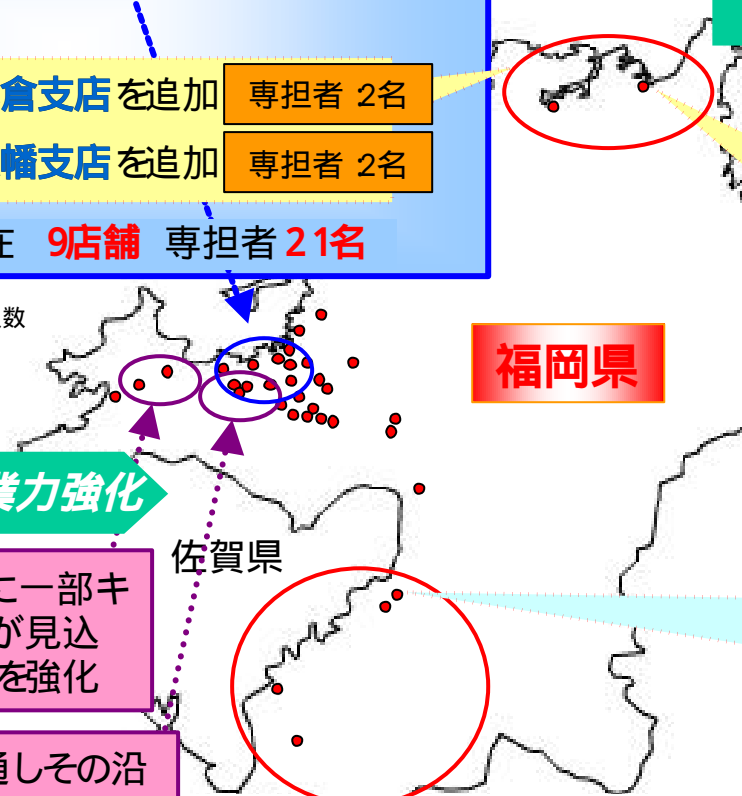
平成15年 2月 7店舗を融資戦略店舗に指定  
**福岡、博多、渡辺通、西新町、箱崎、久留米、博多駅東**  
 専担者 :15名

平成17年 4月 **小倉支店**を追加 専担者 2名

平成20年 4月 **八幡支店**を追加 専担者 2名

平成21年 6月現在 **9店舗** 専担者 **21名**

は指定当初に配置した人数



**福岡県**

佐賀県

## 3. 成長地域への営業力強化

九州大学が伊都地区に一部キャンパスを移転、成長が見込める地域として営業力を強化

地下鉄七隈線が開通しその沿線は成長が見込める地域として営業力を強化

主な営業店支援 (H20年度)

医療専担者	専担者が関与した案件	
	(億円)	うち実行案件
佐賀・長崎 3名	42	36
福岡 4名	84	43
計 7名	126	79

当行の福岡県内貸出金シェア : **2.6%**

平成21年3月末現在  
福岡県は当行営業地域の合計額

## 1. 法人渉外室の設置とその拡充

福岡地区での中堅  
優良企業の開拓

平成12年 6月 **法人営業室**を設置  
 平成18年 10月 医療専担者を**2名**配置

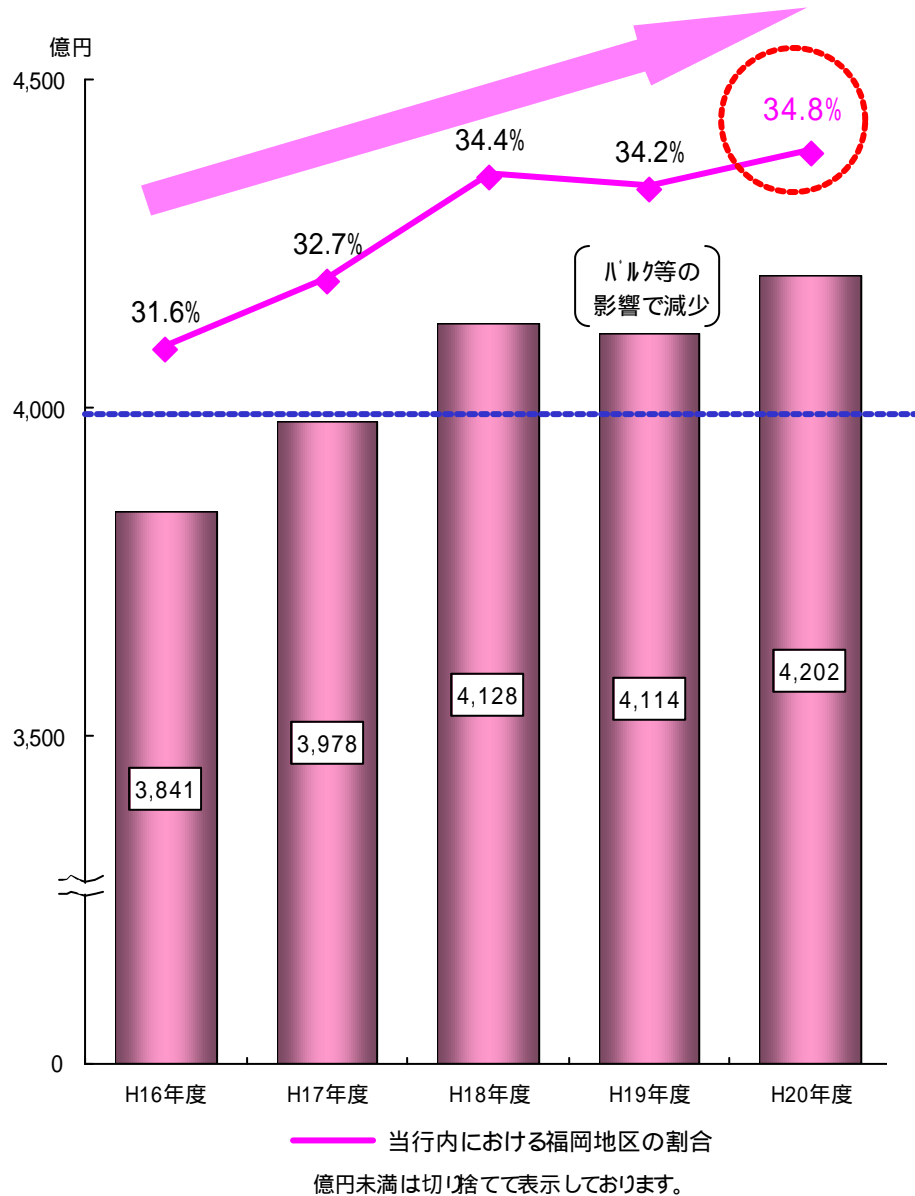
平成19年 4月 小倉に**北九州分室**を設置  
 専担者 **2名**を配置  
 平成20年 4月 医療専担者 **1名**増員

平成20年 4月 久留米に**筑後分室**を設置  
 専担者 **2名**を配置  
 平成20年 12月 医療専担者 **1名**増員

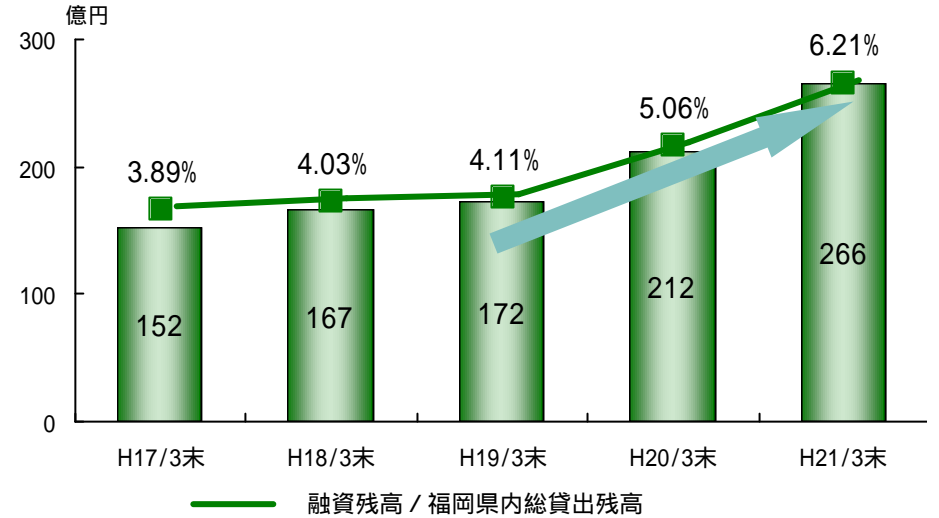
平成20年 6月 **ご商売サポートグループ**新設  
 平成21年 6月現在 **19名** (マイホームセンター除く)

# 16.福岡戦略の成果

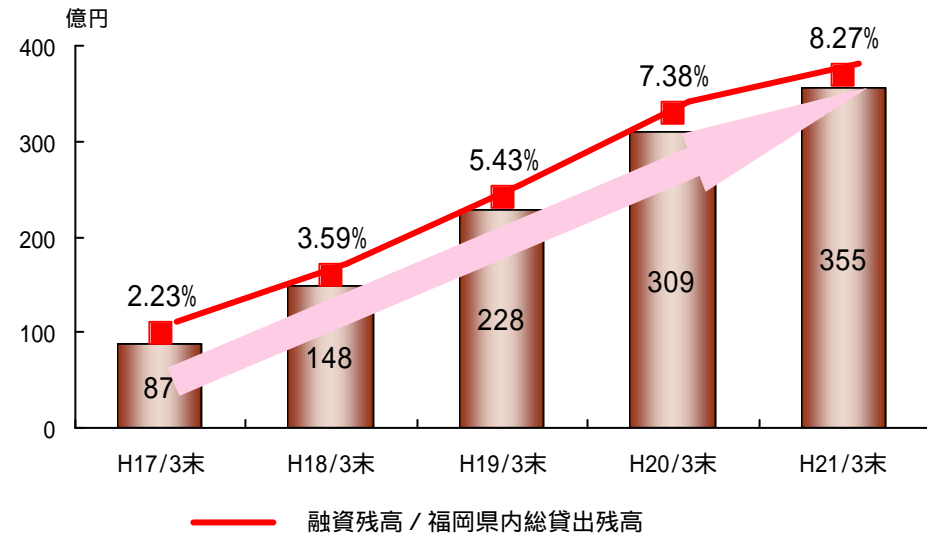
## 1.福岡県内における貸出金平残の推移



## 2.法人渉外室の開拓先の融資残高推移



## 3.融資開拓専担者の開拓先の融資残高推移





# 17. 佐賀・長崎地区での事業性貸出金の増加策

## 営業力強化

(営業店)

平成16年 6月 鳥栖地区、伊万里地区、唐津地区へ増強  
 平成17年 4月 伊万里地区、長崎地区、佐世保地区へ増強  
 平成20年 4月 鳥栖地区、伊万里地区へ増強

### 医療分野への取組み強化

(本部)

平成16年 4月 営業推進部に専担者 **1名** 配置  
 平成17年 4月 専担者を **1名** 増員  
 平成18年 4月 専担者を **1名** 増員  
 平成20年12月 クリニック開業ローンの取扱開始

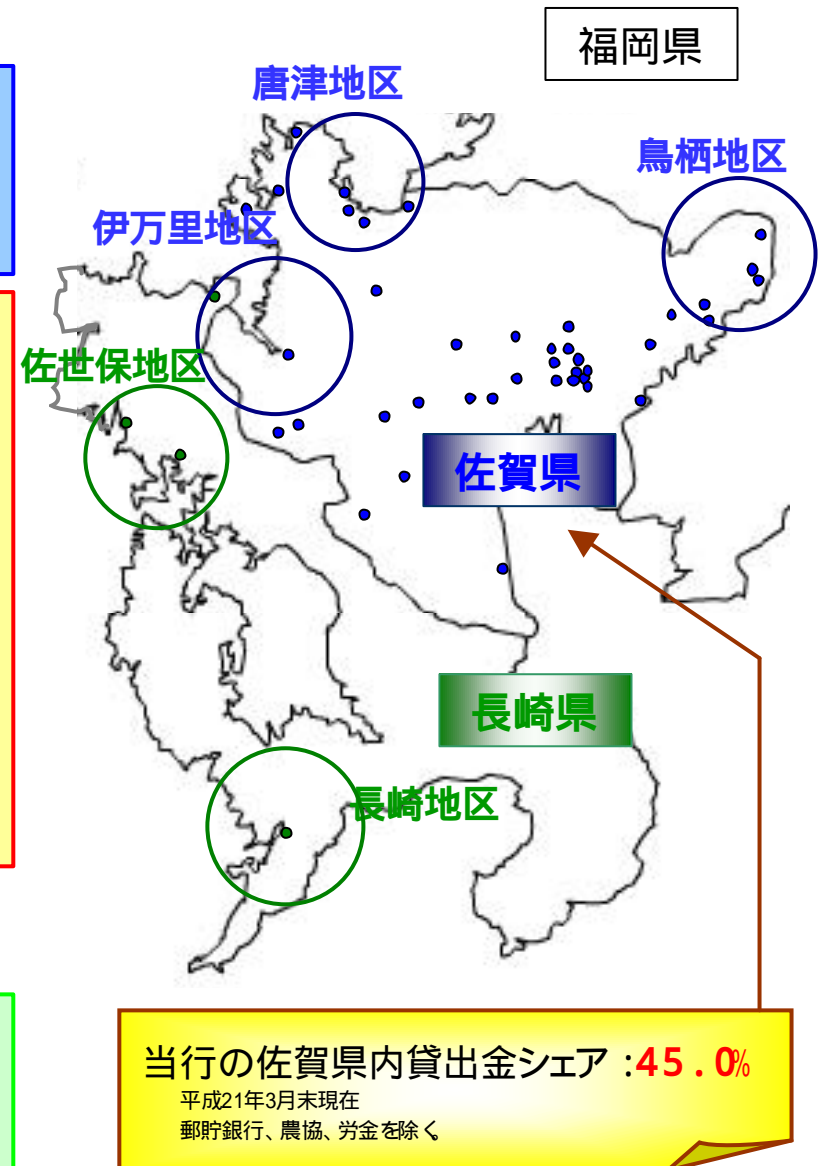
### 法人渉外室の設置 (平成20年6月)

ビジネスマッチング、M & A 事業承継、医療、県内進出企業へのアプローチ等の強化

## 融資戦略店舗と専担者の配置

平成17年 4月 **佐世保支店**を指定 専担者 2名  
 平成19年 10月 専担者を **2名** 増員  
 平成21年 6月現在 **1店舗** 専担者 **4名**

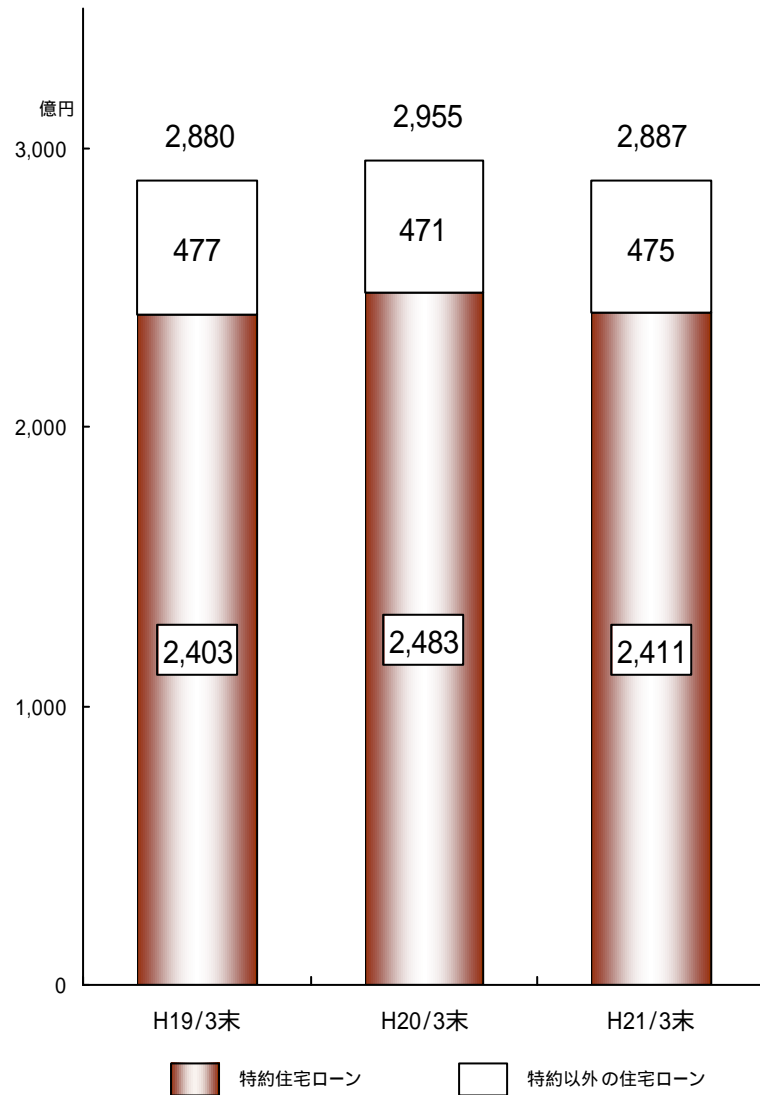
は指定当初に配置した人数



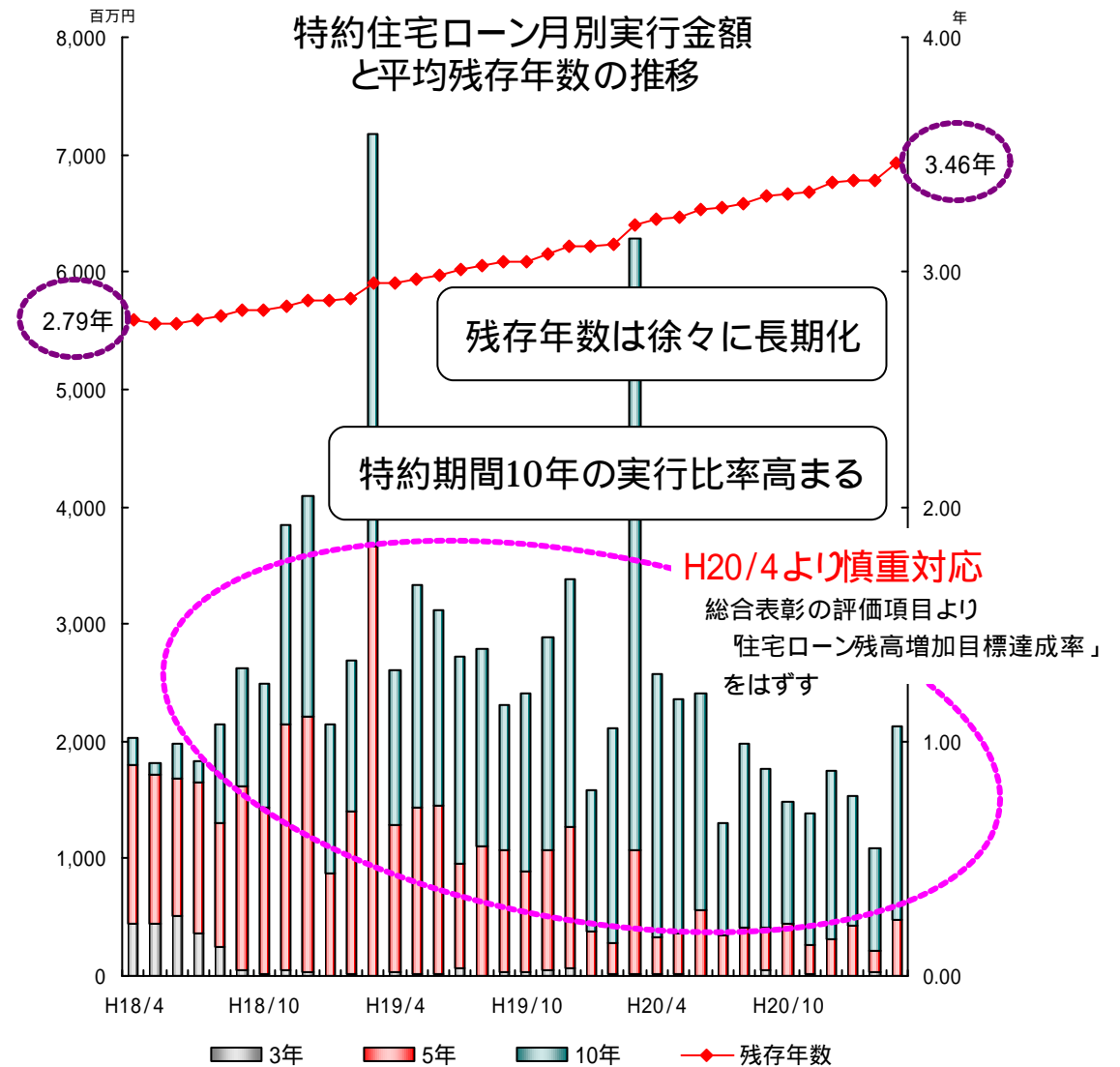
# 18.住宅ローンの状況

## - 慎重対応で足踏み (審査基準厳格化)

### 1.住宅ローン残高の推移

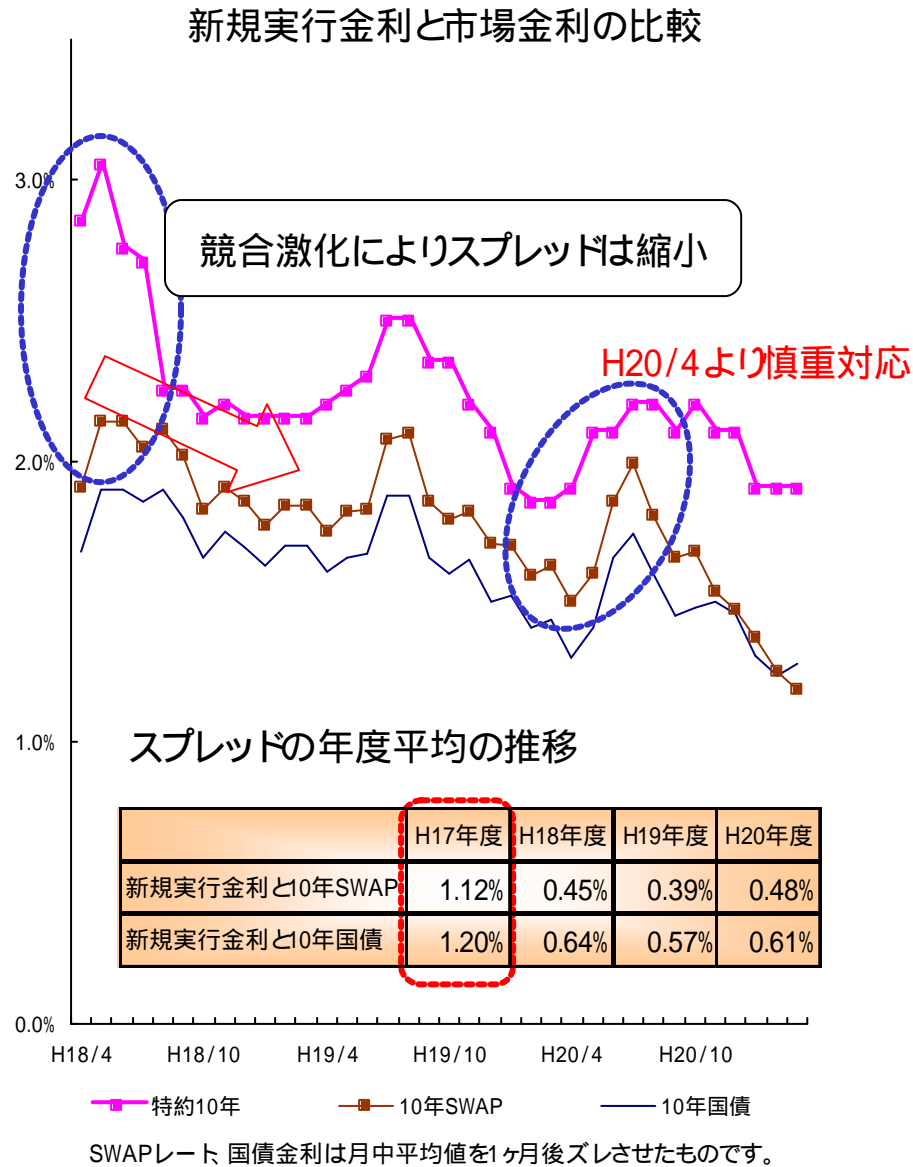


### 2.固定期間の長期化の状況

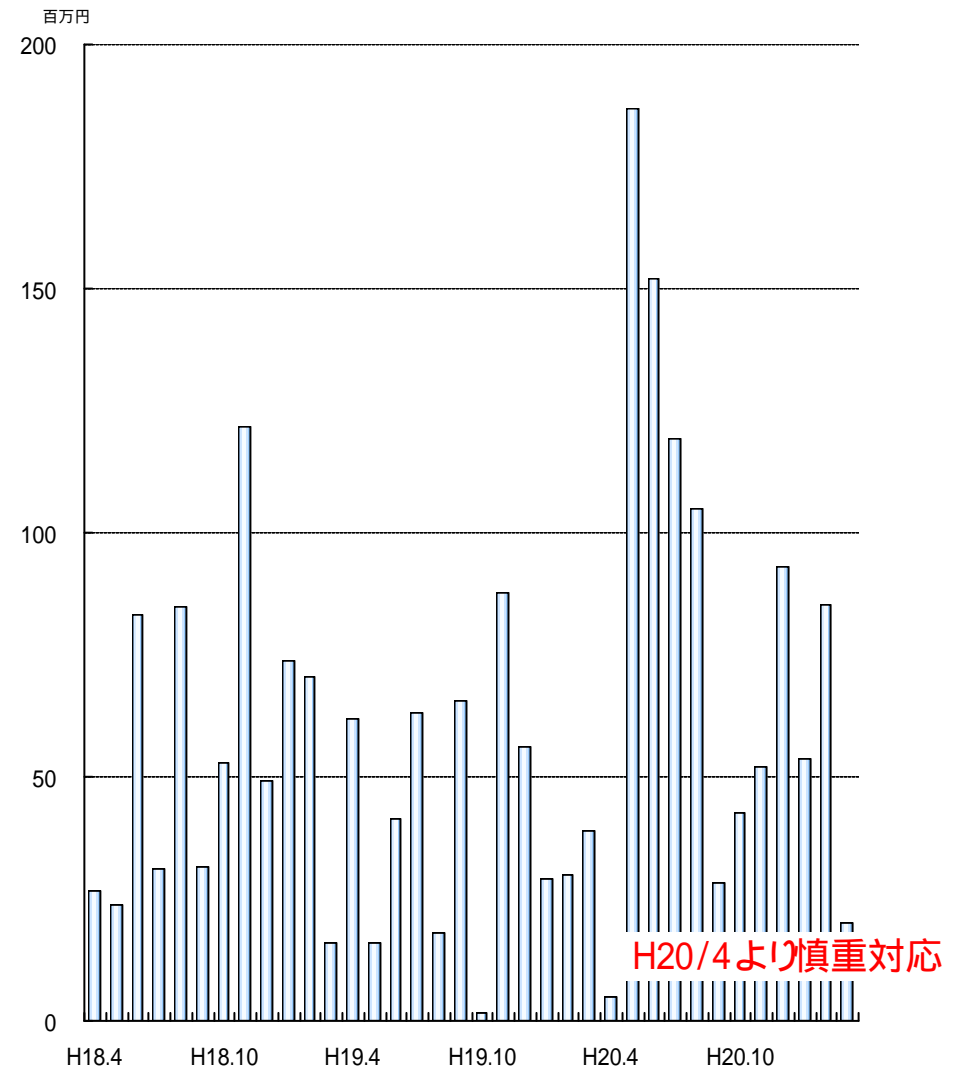


# 18.住宅ローンの状況

## 3.金利の低下状況 (金利競争)

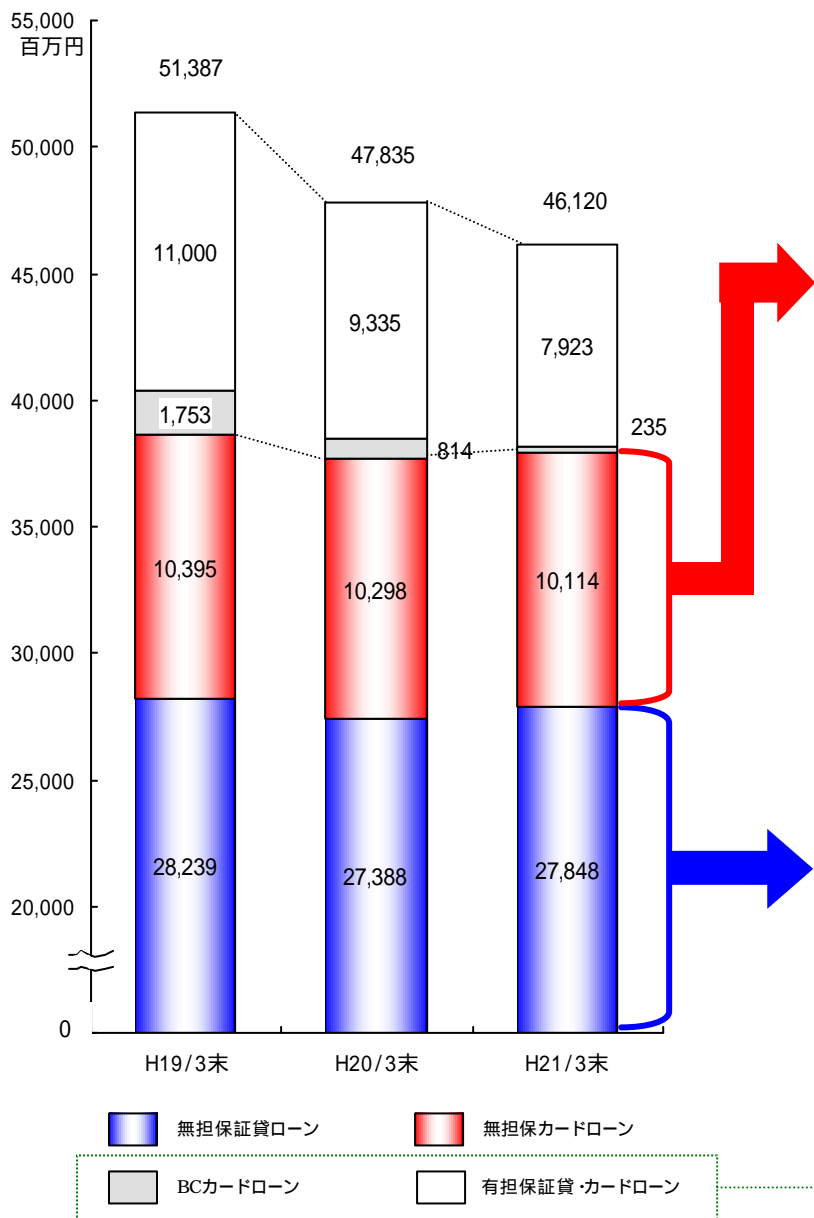


## 4.保証会社の代位弁済の推移



# 19. 消費者ローン増加策 - 新たな顧客層へ

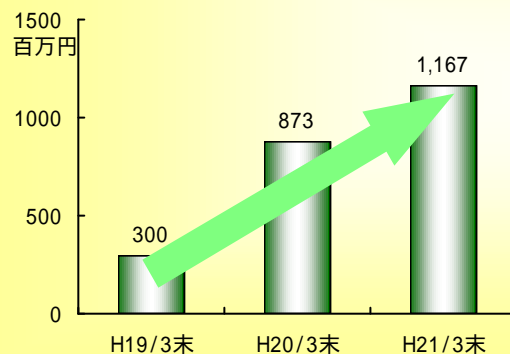
消費者ローン残高の推移



## 新たな顧客層への消費者ローンの推進

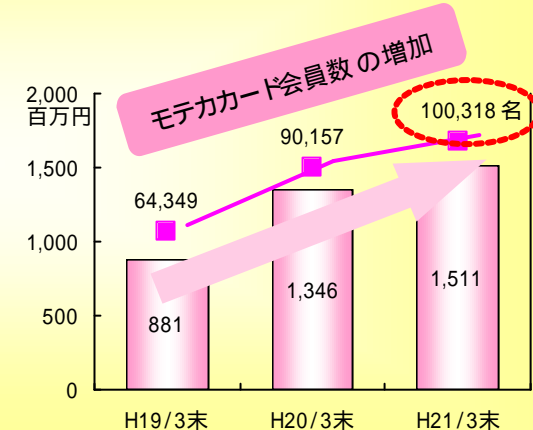
### ATMカードローンの拡充

H18/10 取扱開始  
H21/4 対象先拡大



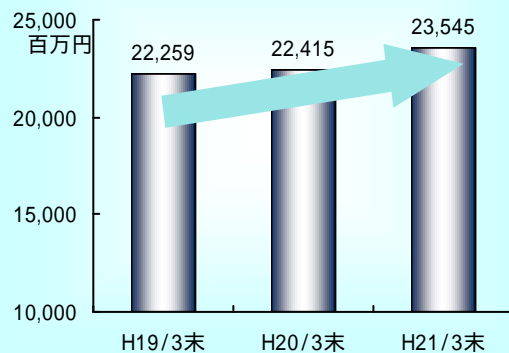
### モテカカードローンの推進

H17/7 モテカカード取扱開始



### らくらローンの推進

#### 無担保証貸ローンの主力商品



モテカカードとは当行本体発行のキャッシュカード一体型のクレジットカードでカードローンやリボ払い・割賦支払機能のほか、ケータイクレジット機能やETCカード機能などを搭載したものです。なお、「モテカ」は「みんなにモテモテ」、「気軽にモテル」、「モッテ役に立つカード」という意味の造語です。



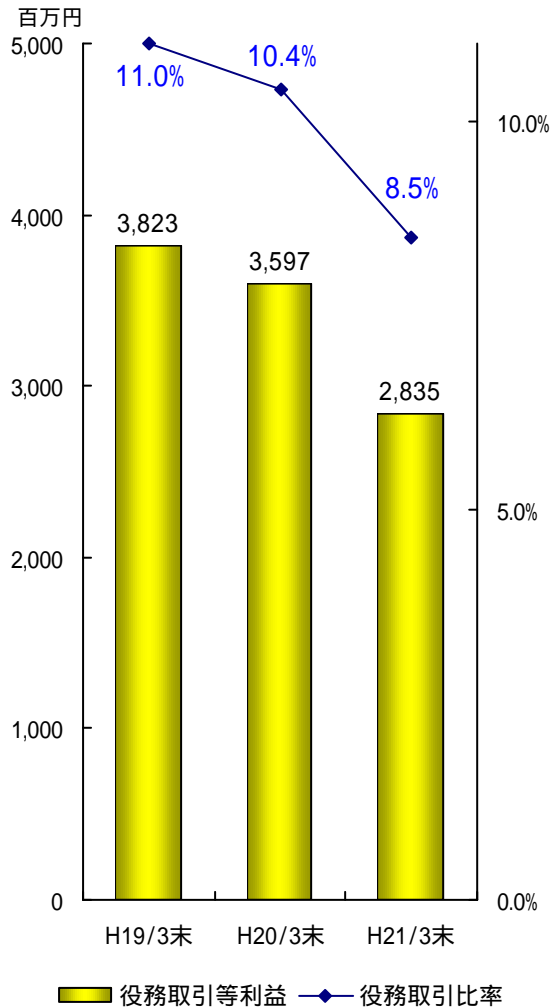
非推進商品 今後も残高は減少

## 部 役務取引等利益増加策

20 .役務取引等利益の状況	・・・30
21 .役務取引等利益の増加策	・・・31
22 .役務取引でも福岡重視へ	・・・32

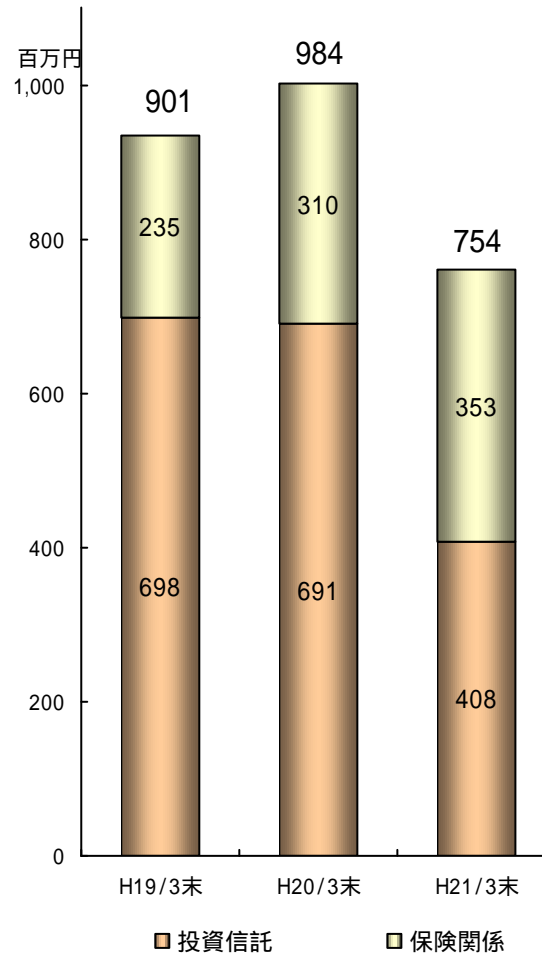
# 20. 役務取引等利益の状況

### 1. 役務取引等利益の推移



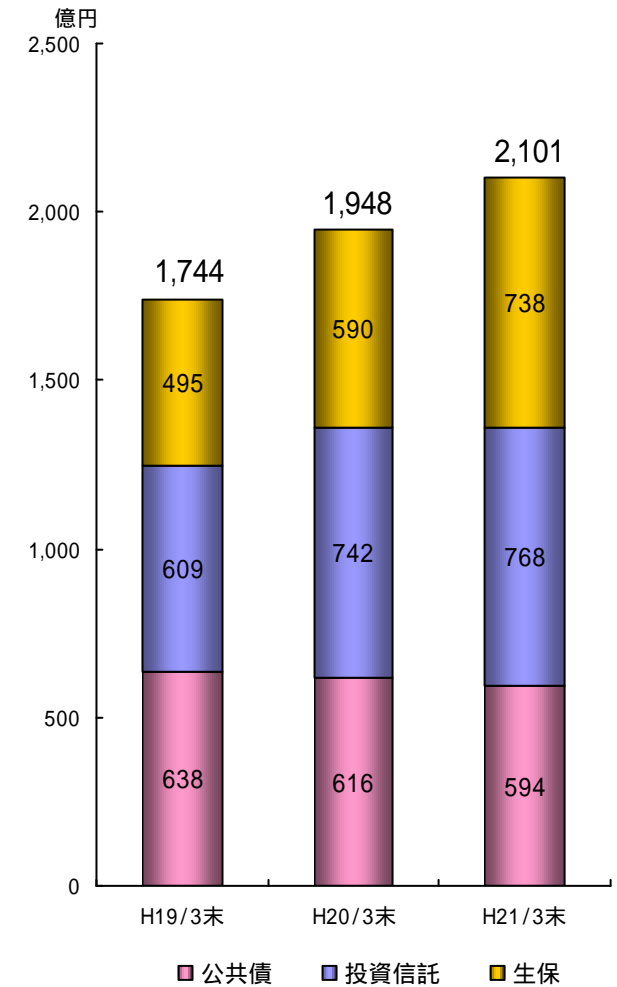
役務取引比率 = 役務取引等利益 / コア業務粗利益  
 百万円未満は切り捨てて表示しております

### 2. 投資信託・保険関係手数料



百万円未満は切り捨てて表示しております

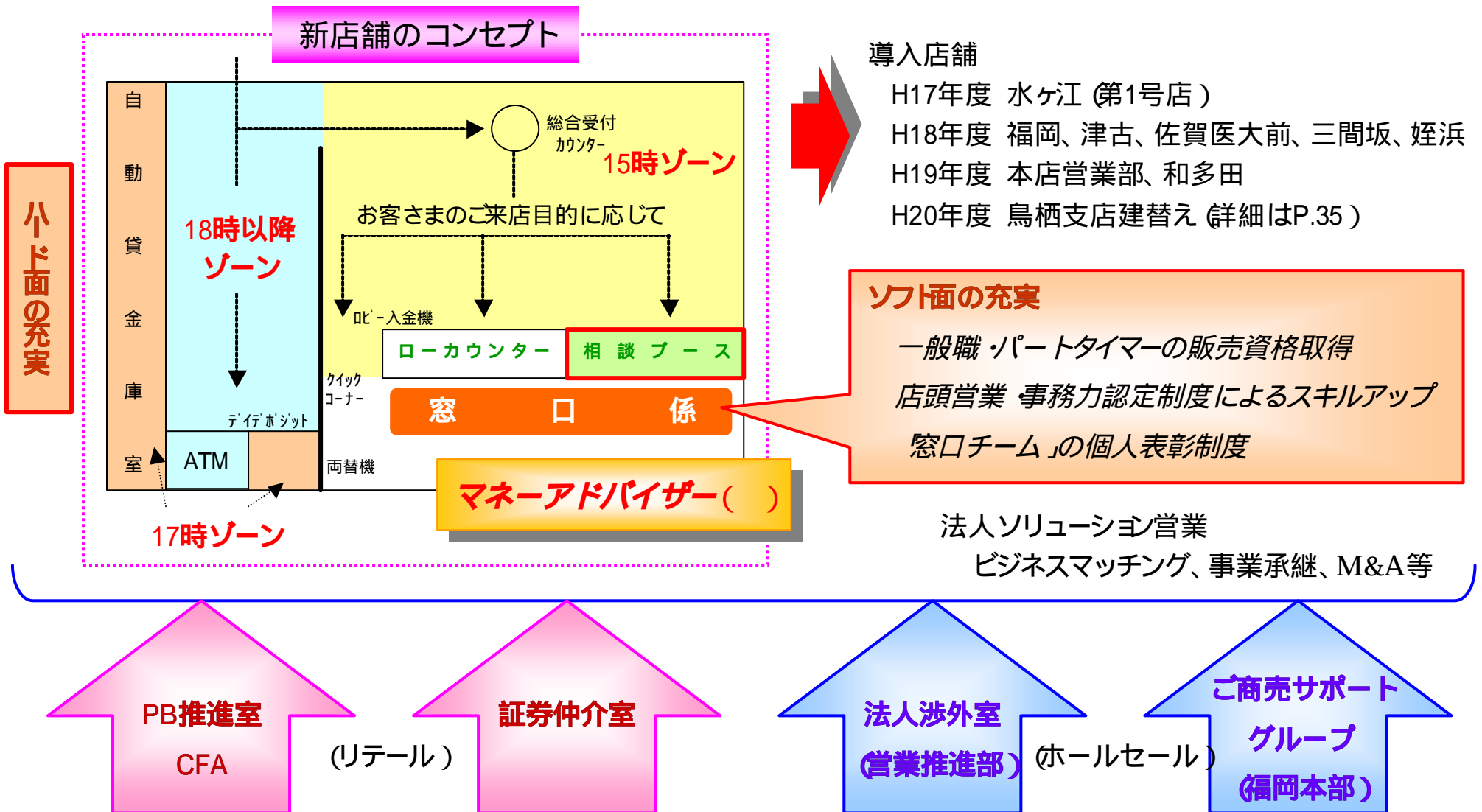
### 3. 個人預り資産残高の推移



億円未満は切り捨てて表示しております

# 21. 役務取引等利益の増加策

▶ 営業店のハード・ソフト面の充実および本部支援体制を併せ、個人預かり資産の増加を図る



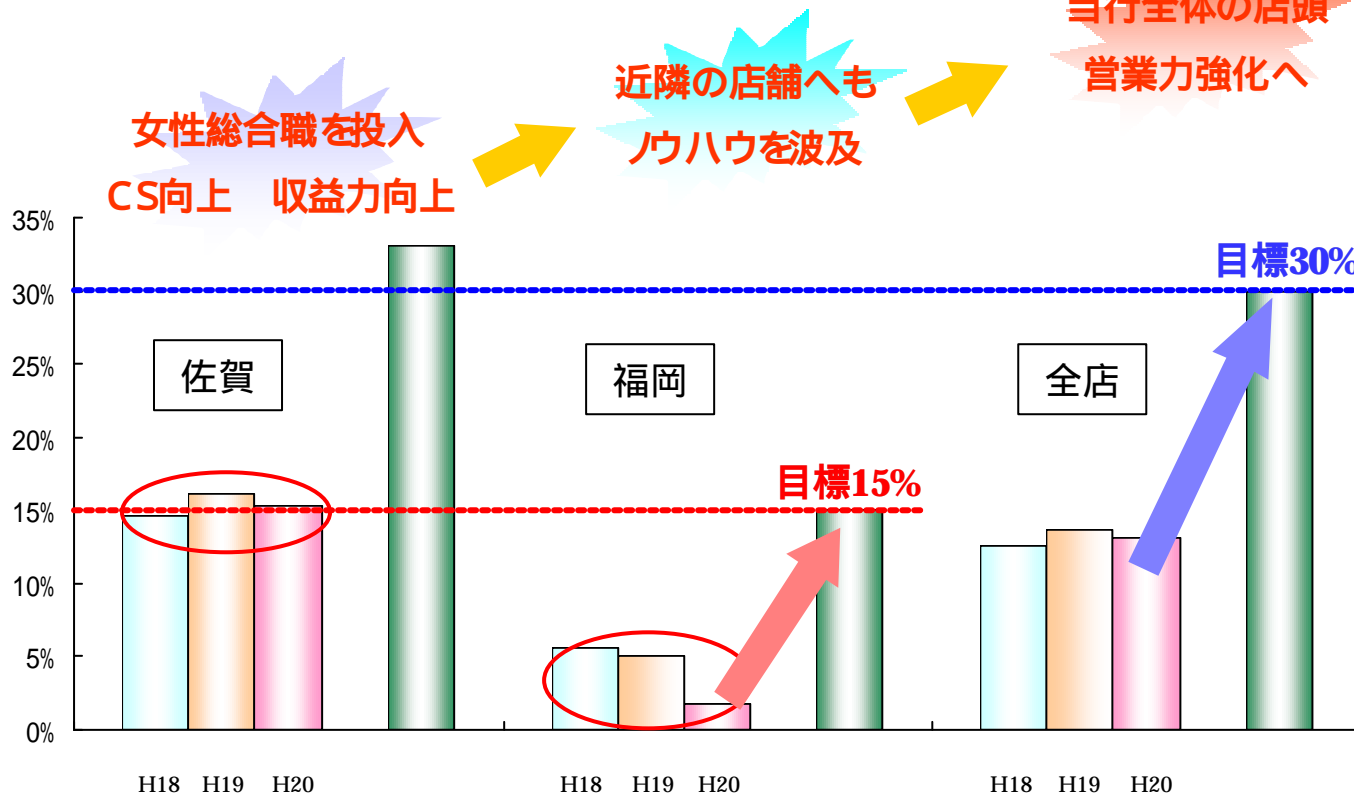
マネーアドバイザーとは、預かり資産の専門的知識を備えた行員で、各営業店の預かり資産の販売リーダーとして行員に対する指導や本部と協力して預かり資産販売の中心的役割を担います。

## 2.2. 役務取引でも福岡重視へ

➤ さぎんハートフルプラス+の設置 ➡ **福岡地区に5店舗**

「CSの向上」と店頭営業の強化による収益向上が見込めるエリア・店舗をリテール強化店舗として選定し、人材の追加配置と研修等による育成を図る

【地域別預かり金融資産店頭販売シェア】



課題解決の施策

店頭販売力」と「CS」それぞれのレベルアップのために

**リテール強化店舗を指定**

人材の育成

**女性総合職の配置**

定期的に外部研修等へ派遣  
行員のレベルアップと他職員への指導

**CS向上・収益力向上**

佐賀県内は店頭販売比率が15%程度  
一方、福岡県内は5%程度

福岡県内の店頭販売比率を高め、当行全体の店頭販売比率向上につなげる

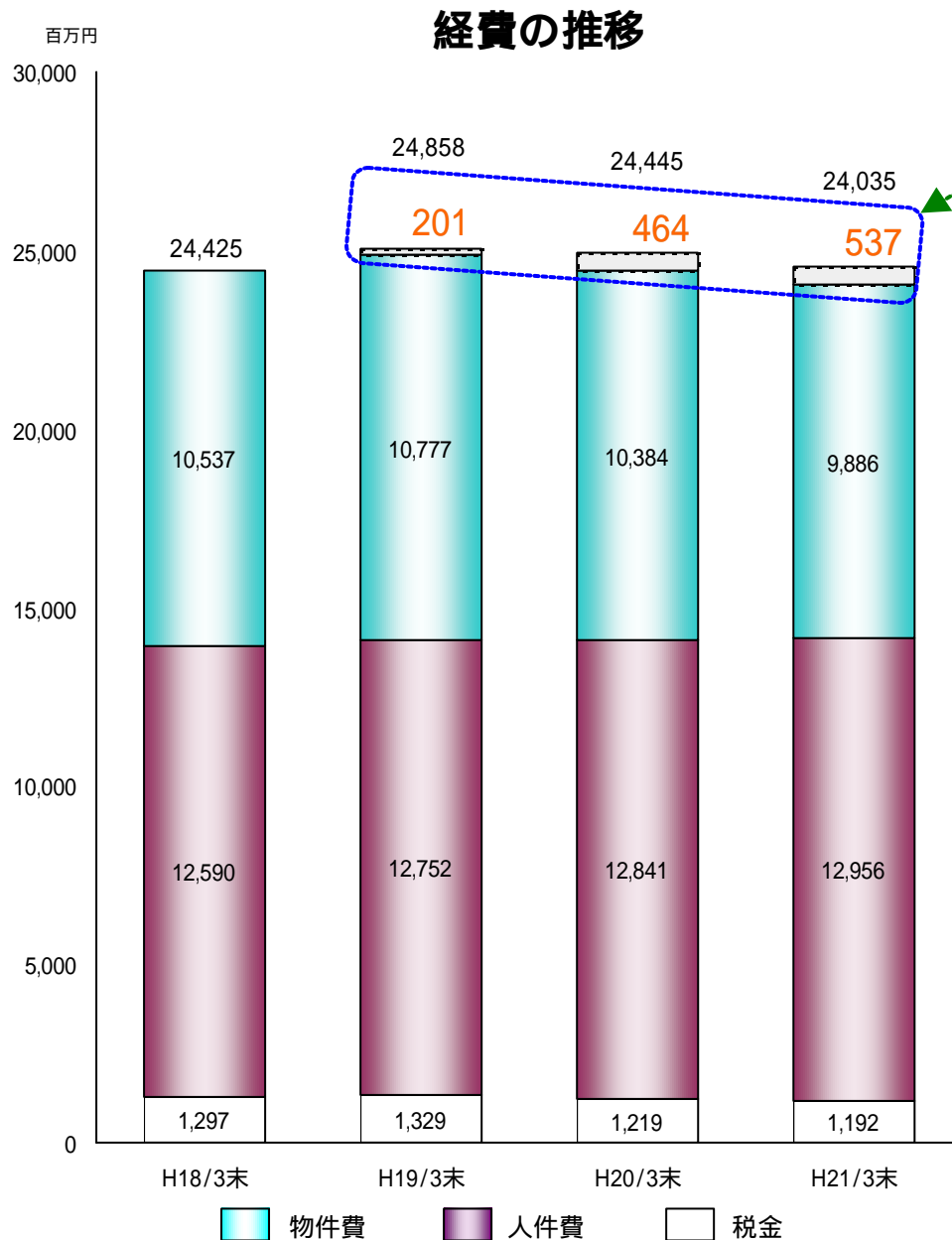


## 部 経費の削減

23.経費の削減

・・・34

## 23.経費の削減



コスト削減プロジェクトの (H18/2 ~ H19/6) 成果

平成21年度以降毎期 **541百万円**

業務改革プロジェクトの (H19/7 ~ H21/6) 成果

人員の再配置 (本部 営業店 推進部門)

コンサル当初見込24名 ➡ 累計**26名**となる見込

営業店事務の本部集中化

営業店経由お客さま宛交付物の本部直送

伝票集中センター対象店舗の拡大

為替被仕向センターの拡大

担保関連業務の本部集中化 (今後実施予定)

三行共同化の削減効果は現在算定中

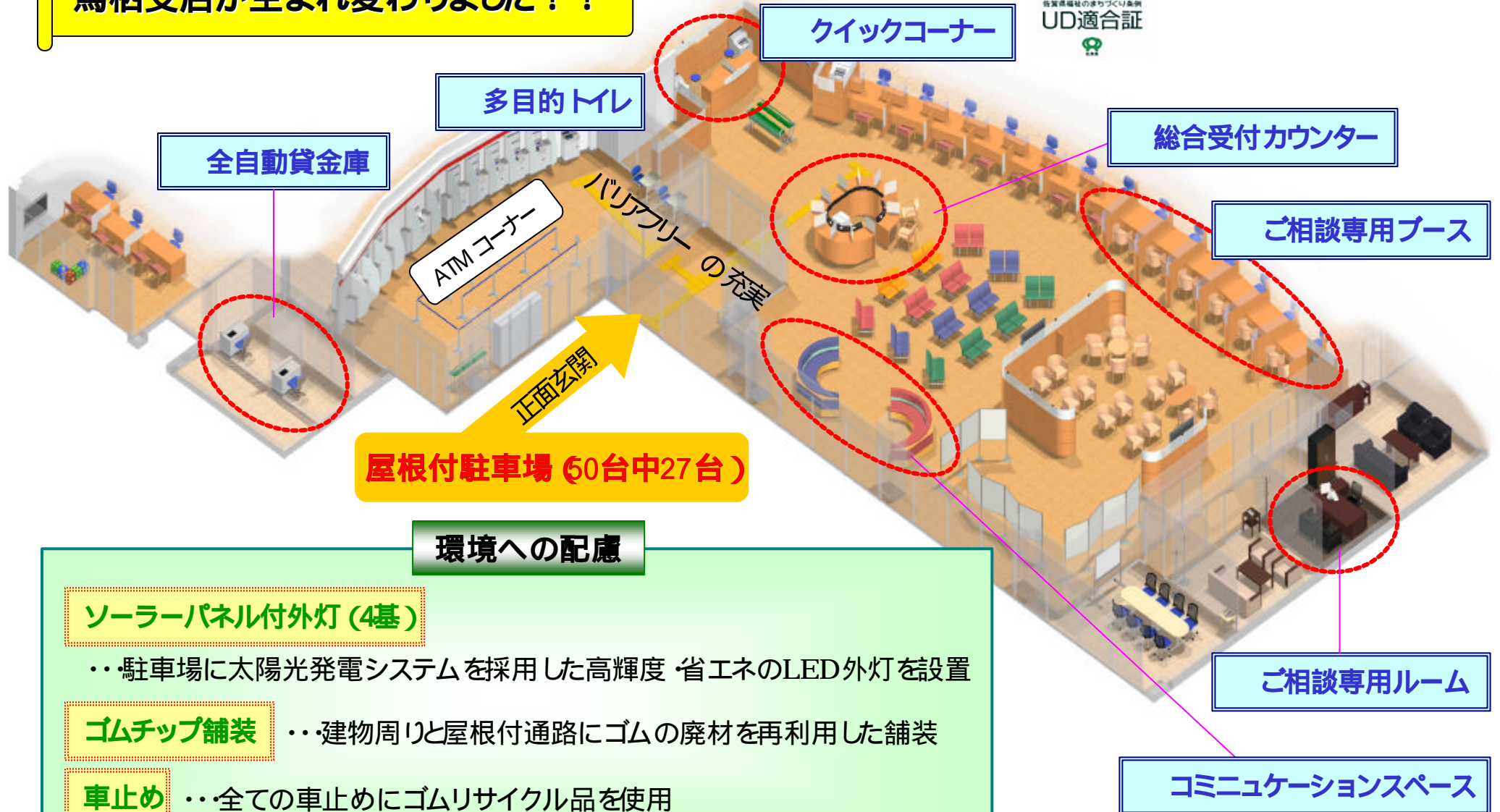
平成21年5月に予定していた新システムの稼働を延期

# ご参考 1 「人 環境に優しい店舗」を目指して



佐賀県内金融機関で初めて佐賀県より福祉のまちづくり条例「ユニバーサルデザイン (UD) 適合証」の交付を受けました。

鳥栖支店が生まれ変わりました！！



## 環境への配慮

### ソーラーパネル付外灯 (4基)

・・・駐車場に太陽光発電システムを採用した高輝度・省エネのLED外灯を設置

### ゴムチップ舗装

・・・建物周りや屋根付通路にゴムの廃材を再利用した舗装

### 車止め

・・・全ての車止めにゴムリサイクル品を使用

## ご参考 2 平成 21年度入行式頭取訓示

---

皆さんの入行を歓迎し、一言歓迎の言葉を述べさせていただきます。今年は平成生れの方もおられます。若々しい皆さんの今後の活躍が期待されます。

と同時に、一年一年が急テンポで移り変っていくことを思い知らされます。

皆さんが採用内定を受けられてからのこの僅かの間にも、いくつか大きな変化がありました。アメリカでは史上初の黒人大統領が誕生しました。同じアメリカのサブプライムローン問題に始った金融・経済面での激しい衝撃は、世界中を揺り動かしています。

皆さんと私とは五十年程年令の差があります。その五十年は、皆さんが生まれる前の二十数年と、生まれた後の二十数年とに、ほぼ半分になるでしょう。

皆さんが生まれる迄の二十数年は、日本経済が拡大・成長を続ける一方、世界的には、「市場経済」を信奉するアメリカを中心とする自由主義諸国と、「計画経済」を奉ずるソ連を中心とする社会主義諸国との、世界を二分しての対立がありました。

この対立は、皆さんが生まれて間も無い頃の「ベルリンの壁の崩壊」、ソ連の消滅等を経て、市場主義の勝利に終わりましたが、その時分になると日本は、それ迄に暴騰していた地価や株価の暴落、ベルリンの壁ならぬいわゆる「バブルの崩壊」に会っています。皆さんが小学校や中学校に通っている間に、いくつもの銀行や証券会社が破綻し、また破綻しないまでも、多くの金融機関が多額の不良債権に苦しみました。このバブルの崩壊とその底から日本が這い上がる時期は「失われた十年」あるいは「失われた十五年」と言われています。

そして日本がこの苦しみから抜け出し、皆さんも無事就職活動ができた現在、今度はアメリカに始まる世界的な金融・経済の大混乱状態となりました。今回はアメリカやヨーロッパでの少なからぬ金融機関の破綻が報じられています。「金融工学」なるものを用いての投機的金融商品開発の危うさや、企業の幹部に対する非常識に高額な報酬の支払いなども指弾されています。

アメリカとソ連の両陣営が対立していた時には、「市場経済」と「計画経済」とが天秤上で釣り合って、経済は市場の働きに委ねるが、行き過ぎや分配の不公平が生じる場合には政府が介入する、という両者の中庸をとった「混合経済」が穏当なものとして多くの人々の支持を得ていました。

しかしソ連が無くなり、「アメリカの一極支配」と言われる状況になると、経済の天秤は大きく市場経済の方に傾き、政府は何もしない程良い、政府は小さい程良い、という「市場原理主義」が幅を利かすようになりました。

世界の経済は「アメリカ化」からさらに進んで「ウォールストリート化」し、金（かね）がすべて、競争至上、弱肉強食、勝者総取り（ウィナーズ・テイク・オール）といった世の中になり始めました。

---

そのような中で私は、当行が、少なくとも金（かね）が総てとは考えない銀行として存在してゆくことを期待しています。

当行は現在、「さぎんさん」、「佐賀銀行さん」と「さん付け」で呼ばれる銀行になるよう努力しています。

皆さん当行を受験したり、あるいは当行の内定通知を受けた時、家族や友人の方々に、「佐賀銀行を受けるのよ」とか、「さぎんの内定をもらったよ」とは言っても、「佐賀銀行さんを受ける」とか、「さぎんさんから内定をもらった」とは言わなかったでしょう。そういう時に自然に「佐賀銀行さんの」とか「さぎんさんから」と言っていただけの銀行になりたいということです。

そのために何が必要かという、それは先ず皆さん自身がお客様から「佐賀銀行の誰々さん」と「さん付け」で呼んでいただけるようになることです。

そしてまたそのためには、銀行員としての色々な知識や作法等を身に付けることもありますが、同時に、皆さんの持っている沢山の「善いもの」をどんどん出していくことです。

これ迄の皆さんの生活では、どの学校に入ったかとか、成績は何番だったかといったことに気をとられ、気が付かなかったかも知れませんが、皆さんの中には、誠実さとか、優しさとか、犠牲的精神、あるいは勇気等々数え切れない「善いもの」が沢山詰まっているのです。皆さんの財布の中に入っているお金は出すとすぐ無くなってしまいますが、皆さんの中に詰まっている「善いもの」は出しても出しても無くなりません。それが皆さんの中で「外に出たい」、「外に出たい」と言っているのが聞えませんか。

法華経というお経に「菩薩」と呼ばれる人達が出てきます。ここで先ず言っておきたいのは、お経というのは法事でお坊さんが読むためのもののように思われていますが、そうではありません。大昔から種々の苦しみや悩みを抱えた多くの人達が、どうしたらその悩みや苦しみから逃れられるか、考えに考えてきた、その考えの膨大な集積物がお経です。

お経も最初の頃のもの、どうしたら自分自身を苦しみや悩みから救えるかを書いたものでしたが、何百年か経つうちに、「回りの者が救われないうちに自分だけが救われようとは思わない」、「回りの人々を救うためにこそ自分は役立ちたい」という考え方が出て来ました。そしてこういう考え方をもち他人を救おうと努力する人を「菩薩」と呼ぶようになりました。

法華経には、その菩薩について、「お釈迦様が法華経を説いていると、地面が激しく振動し、地べたから無数の菩薩が涌（わ）き出してきて、お釈迦様の回りに集まり、その説法を聞いた」とあります。無数の人間が地面から涌き出したなどという、なんというくだらない作り話だろう、だからお経はくだらないと思う人もいるでしょう。

---

しかしこれを、普段は表に出ていないけれども菩薩は皆さんの回りに大勢いるのだ、あるいは皆さんは気が付かなくとも皆さんの心の中に菩薩が住んでいるのだということを言っていると読み取れることもできるでしょう。

皆さんを菩薩と呼ぶかどうかは別として、皆さんの中には沢山の「善いもの」が詰まっていることを忘れず、それをどんどん出すようにして下さい。

今回の世界的な混乱を機に、世界がアメリカ一局集中から多極化の方向に変化し、世界中の各地域や国々それぞれの価値観が再評価されるようになるという期待が高まっています。その場合日本はどのような価値観を世界に発信していけるでしょうか。

先週は第二回ワールド・ベースボール・クラシックで日本が優勝しました。チームの愛称サムライジャパンの「サムライ」というのもその一つかも知れません。「菩薩」もそうかも知れません。

少し話が難しかったかも知れませんが、今日皆さんが社会人としての第一歩を踏み出し、この先五十年を歩き続けていかれるにあたって、皆さんの実りある人生を祈って私の挨拶といたします。

【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行  
総合企画部  
担当 森田、田辺

TEL 0952-25-4553

本資料に記載された将来の予測等は資料作成時点の当行の判断であり、将来の業績等を保証するものではありません。今後、経営環境の変化などにより、変更される可能性があることにご留意ください。また、本資料は当行の財務状況および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。